別紙1(主任技術評価員1/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е			
1 施工体制	I 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である			
		●評価対象項目							
		対象 評価			評価	評価			
		□ □ 施工体制の点検のうち「1-2施工体制台 い。	台帳等に関する点検」において指導事項が無	台帳等に関する点検」において指導事					
				項があったが、その後改善が確認された。 た。	に改善できると判断される不適があった。または、指導事項があり、その後 の改善も見られなかった。				
		 □ □ 契約締結の14日以内に、契約工程表又	は請負代金内訳書が提出された。						
				出しており、かつ設計図書等(総合評価落札力	ち式で採用された技術提案を含む)の内容を	網羅した内容が記されている。			
			般にわたって実施する体制が施工計画書に明						
		□ □ □ ボルン、い質、女主サン雑誌を工事主成にわたりて実施する体間が施工計画音に引催に記載されている。 □ □ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。							
		□ □ 元請が下請の作業成果を検査している。							
		□ □ 施工計画書の内容と現場施工体制が一致している。							
		□ □ 災害(受注者の責に拠らない自然的又は人為的な事象)等が発生した場合の対応、前記の事象に対する措置請求の対応が速やかである。							
		□ □ 現場の施工や災害(受注者の責に拠ら	ない自然的又は人為的な事象)に対する本品	や支店による支援体制(人員や資機材)を虫	整えている。				
		□ □ 工場製作期間における技術者を適切に							
				以上の社内規格値の設定や確認方法等)を鏨	整えている。				
		□ □ その他							
		(理由:)					
		●判断基準							
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満 または 上記に該当	d 評価値が70%未満 または 上記に該当	e 上記に該当			
		《判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当該工	事で評価対象となる項目について対象にチェ	:ックする。				
			② 上記①のチェック後の評価対象項目数	を母数として、評価にチェックした比率(%)	計算の値で評価する。				
		③ 評価値 (%) = () 評価数/ () 対象評価項目数<対象チェック総数>							
		④ なお、上記①のチェック後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする							
		●留意事項							
		※ 施工体制の点検のうち「1-2施工体制を 等に関する点検に基づく点検結果をいる。		ける施工体制点検要領について」(平成22年	3月10日付東高技管第54号担当取締役)、4.	点検 (1)点検項目に示す1-2施工体制台帳			
		すに対するが仮に巻く、が像個木とい	<i>7</i> o						

別紙1(主任技術評価員2/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е			
1 施工体制	Ⅱ 配置技術者	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である			
	(現場代理人等)	●評価対象項目							
		対象 評価		評価	評価	評価			
		【全体を評価する項目】							
		□ □ 「施工体制の点検のうち「1-1配置技術	所者に関する点検」について指導事項が無	□ 施工体制の点検のうち「1-1配置技術	□ 施工体制の点検のうち「1-1配置技術	□ 施工体制の点検のうち「1-1配置技術			
		√ ′ °		者に関する点検」において指導事項が あったが、その後改善が確認された。	者に関する点検」において速やかに改善できると判断される不適があった。	者に関する点検」において通知を必要 とする不適がった			
				めったが、ての後以音が確認された。	または、指導事項があり、その後の改				
					善も見られなかった。				
				- (イ) ++ (は サ. バー・ロート - ・ ・ フ	口 子去燃烟土场, 5000000000000000000000000000000000000				
		□□作業に必要な専門技術者や作業主任者	か選仕及び配直され、現場代埋入・監埋(土	上仕)技術者が把握している。	□ 工事管理支援システムに使用することを監 督員から指導を受けたが、指導後使用				
		【現場代理人を評価する項目】 □ □ 現場代理人が工事全体を把握している			自員が5指導を支げたが、指導後使用 された。	目 目負がら指導を交が、から指導をもり 用されなかった。			
			~	ス 昌が叩灸セテトでいる根 へ は除く)で行っ	2,11,20	, N = N = 0			
		ローロー先物に座八が、監督員との共通は稼音	□ 現場代理人が、監督員との共通仕様書で指定された書類を工事管理支援システム(監督員が別途指示している場合は除く)で行っ ている						
		【監理(主任)技術者を評価する項目		(37)					
		□ □ 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。							
		□ □ 施工に先だち、創意工夫または提案をもって工事を進めている。							
		□ □ 契約書、設計図書等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。							
		□ □ 施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係っている。							
		□ 応工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。							
		□ □ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。							
		□ □ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に	基づいて技術的な判断を行っている。						
		□□その他							
		(理由:)					
		●判断基準		37/m/+ 18 m o o/ NI I o o o/					
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満 または 上記に該当	d 評価値が70%未満 または 上記に該当	e 上記に該当			
		《判断基準》	① 当該「莎佐対免項日」のされ、当該工	事で評価対象となる項目について対象にチェ					
		│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │							
		② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(
				項目数が2項目以下の場合はc評価とする	***				
		●留意事項		ABM A ABOUT WOULDON INC TO					
			音に関する点検」とは、「工事現場における	施工体制点検要領について」(平成22年3月1	0日付東高技管第54号担当取締役)、4. 点検	(1)点検項目に示す1-1配置技術者に関す			
		る点検に基づく点検結果をいう。		,					

別紙1(主任技術評価員3/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е	
2 施工状況	I 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である		
= "5— >\	- "0— 11-1	●評価対象項目					
		対象 評価				評価	
		□ 型約書(条件変更等)18条第1項第	31号から5号に係わる設計図書の照査を行く	っている。		□ 施工管理に関して、契約責任者からず	
			事実が確認できる資料を書面により提出して			書又は監督員から工事打合簿による改	
		□ □ 施工計画書の内容と現場施工方法が一				善指示を行った。	
		□ □ 施工計画書の内容が設計図書の内容及					
		□□□工事材料の品質に影響が無いよう保管					
			正計画書に基づき適時及び的確に行っている。 正計画書に基づき適時及び的確に行っている。	5.			
			計画書に基づき適時及び的確に行っている。				
		□ 現場内での整理整頓が日常的になされ					
		□ □ 現場でのイメージアップに積極的に取					
		□ □ 検査及び立会いの手続きが事前になさ					
		□ □ 建設廃棄物について産業廃棄物管理票	-	ていることが確認できる			
			促進計画書を所定の様式に基づき作成し、	· · ·			
		□ □ 工事全般において、低騒音型、低振動					
		□□その他	至、所由20.74从至0.2年的成队及0.4时已				
		(理由:)			
		●判断基準		,			
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当	
		a H IIII III 10 0 7000 II	b 肝圖區// 0 0 /0/人工 0 0 /0/代圖				
		【判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当該工		 エックする。		
		***************************************		女を母数として、評価にチェックした比率(%			
				女/()対象評価項目数<対象チェック総			
				を項目数が2項目以下の場合はc評価とする			
考査項目	細別	а	b	С	d	е	
2 施工状況	Ⅱ 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		●評価対象項目		•		<u>.</u>	
		対象 評価 評価					
		□ □ 実施工程表の作成及びフォローアッフ	□ 工程管理に関して、契約責任者からず				
		□ □ クリティカルパスとなる工事など工程	書又は監督員から工事打合簿による改				
		□ □ 時間制限や交通規制等の各種制約への	善指示を行った。				
		具体的な内容:					
		□ □ 現場条件の変化への対応が迅速であり					
		□ □ 共通仕様書に基づく夜間、土曜、日曜	!、祝日(振替休日を含む)及び年末年始にお	おける休日の確保を行っている。			
		□ □ 計画工程以外の作業日や時間外作業が					
		□ □ 適切な工程管理を行い、工程の遅れが	無い。				
		具体的な管理方法:					
		□ □ 工事の進捗を早めるための取り組みを	行っている。				
		具体的な取り組み:					
		□ □ その他					
		(理由:)			
		●判断基準				•	
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当	
		《判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当該エ				
				なを母数として、評価にチェックした比率(%			
				女/()対象評価項目数〈対象チェック総	《数》		
			④ なお、上記①のチェック後の評価対象	R項目数が2項目以下の場合はc評価とする			

別紙1(主任技術評価員4/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е		
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である		
		●評価対象項目						
		対象 評価				評価		
		□ □ 工事着手前に、所轄警察署・道路管理: きる。	者・鉄道事業者・河川管理者・労働基準監察	習署等の関係者及び関係機関と緊密な連絡・ は	協議等がされていることが書面により確認で	□ 安全対策に関して、契約責任者から文 書又は監督員から工事打合簿による改		
		□ □ 工事着手前に、道路・鉄道・河川・水 との協議がなされていることが書面に		施設等又は建築物の近傍における工事におい	て、損害を与えないようそれら施設管理者	善指示を行った。		
		□ □ 工事関係者の他、付近住民、一般通行	人、一般通行車両等の第三者の安全確保(何	反囲い、保安柵、保安灯及び工事標識等の保室	安施設の設置及び管理)を関係者間の協議等			
		│ に基づき行っていることが書面又は記録により確認できる。 │ □ □ 工事着手後に、工事現場の区分を明確にし、第三者の工事現場への立入りを防止する措置が講じていることが書面又は記録により確認できる。						
		□ □ 工事着手後に、所轄警察署、道路管理: ていることが書面又は記録により確認:		習署等の関係者及び関係機関と緊密な連絡・ は	協議等に基づき工事中の安全が確保がなされ			
		□ □ 工事着手後に、道路・鉄道・河川・水 との協議に基づき現地における安全の	路・電力施設・通信施設・ガス施設及び水道 確保がなされていることが書面又は記録に。		て、損害を与えないようそれら施設管理者			
		□ □ 毎日、作業開始前にツールボックスミ	ーティング(TBM)、危険予知活動(K [™]	Y)等を実施している記録が整備されている。				
		□ □ 工事着手後に、作業員の参加により毎 録により確認できる。		本的な安全・訓練等の計画が施工計画書に網絡	罹され、かつ実施していることが書面又は記			
		□ □ 新規入場者教育の内容に、当該工事の記 □ □ 工事現場が隣接し又は同一場所におい		基づき関係者による安全協議会を組織し情報な	交換又は非常時における連絡調整を行ってい			
		ることが書面又は記録により確認でき □ □ 労働安全衛生法関連法令に基づく災害	- v	の協議会の会議が1回/月以上実施されている	ることの活動記録が整備されている。			
		┃ □ 労働安全衛生法関連法令に基づく災害防止協議会等が設置されていること及びその協議会の会議が1回/月以上実施されていることの活動記録が整備されている。 ┃□ □ 高所作業、深部の掘削等特殊な作業において、有資格者又は適切な労働者を使用していることが書面又は記録により確認できる。 ┃□ □ 供用中の高速道路及び一般有料道路の路上作業を行う必要がある工事の場合に、保全安全管理者が適切に配置されていることが書面又は記録により確認できる。 ┃□ □ 夜間、休日において工事を実施する場合において、複数の元方安全衛生管理者の選任又はこれに準ずる能力を有する技術者を配置している記録が整備されている。						
		□ □ 夜間、休日において工事を実施する場 □ □ 足場工の施工にあたり、枠組み足場を	d置している記録が整備されている。					
		│ □ □ 足場、型枠支保工などの仮設用設備の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 │ □ □ 土砂崩壊(落盤・崩壊・崩落等)の恐れがある場所における作業で、浮石及び亀裂等の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていることが書面又は記録↓ │ り確認できる。						
		□ □ 山留め、仮締切などの仮設工について	、設置後の点検及び管理がチェックリスト	等を用いて実施されている。				
		□ □ 使用機械、車両等の点検整備を管理し	ている記録が整備されている。					
		□ □ 当該工事において爆発物及び危険物等 適切な措置を講じていることが書面又		生の恐れがある場合において関係法令等を遵守	子するとともに、関係官公署の指示に従い、			
		□ □ 請負契約における労働災害防止対策の		されていることが書面又は記録により確認でき	きる。			
		□ □ 店社安全衛生管理者等による安全衛生	パトロールを1回/月以上実施している記録	录が整備されている。				
		□ □ 安全衛生パトロールなど各種安全パト	ロールでの指導事項について、速やかに改	善を図り、かつ関係者に是正報告している				
		□ □ 工事期間を通じて労働災害及び公衆災	害が発生しなかった。					
		□ □ 過積載防止の指導・実施に努めている	ことが書面又は記録により確認できる。					
		□ □ その他						
		(理由:)			
		●判断基準						
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当		
		《判断基準》		L事で評価対象となる項目について対象にチェ				
				女を母数として、評価にチェックした比率(%)				
				女/()対象評価項目数〈対象チェック総	数〉			
			④ なお、上記①のチェック後の評価対象	や項目数が2項目以下の場合はc評価とする				
		●留意事項		A Maria I was a della and a company	Library has II 1000 has 1 ye da danse on a 11 A 12 I I I			
			契約責任者から文書又は監督員から工事打 は別に契約責任者又は監督員が安全対策に	合簿による改善指示を行った。」には、総括打 対し改善指示を行った場合に適用する。	支術評価員が評価する考査項目7. 法令遵守等	に適合した場合に行う「資格停止等通知文 		
-	•	•		•				

別紙1(主任技術評価員5/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е	
2 施工状況	Ⅳ 対外関係	適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である					
		●評価対象項目					
		対象 評価				評価	
		□ □ 工事の施工にあたり、自ら関係官公庁				□ 関連工事との調整に関して、発注者の	
			係官庁等の関係機関との折衝及び調整した記	生し、監督員による交渉・調整が必要			
		□ □ 地元住民等との施工上必要な交渉を監する。	督員に事前報告の上、自らが適切に実施した	となった。	含む工事全体の進捗に支障が生じた。		
		□ □ 工事の施工にあたり、地元との調整を行	行い、トラブルの発生が無い。				
		□ □ 第三者からの苦情が無い。もしくは、	□ 関係法令に違反する恐れがあったた				
		□ □ 関連工事との調整を行い、関連工事を行		め、契約責任者から文書又は監督員か			
		□ □ 工事の目的及び内容を、工事看板など	により地域住民や通行者等に分かりやすく周	知している。	ら工事打合簿による指示を行った。		
		□ □ その他					
		(理由:)			
		●判断基準					
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満 または 上記1項目でも該当	e 上記に該当	
		《判断基準》 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。					
		② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。					
				/()対象評価項目数<対象チェック総数	数>		
		④ なお、上記①のチェック後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする					

別紙1(主任技術評価員6/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

【土木工事】		【土木工事】				
考査項目	細別	а	b	С	d	е
3 出来形及び出来ばえ	Ⅰ 出来形	□ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。			川 出来形が、測定項目、測定基準又は規格値を満足せず、監督員から工事打合簿による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員からコ 事打合簿による改造請求を行った。
		《判断基準》	① 出来形の評定は、工事全般を通したも	のとする。	•	
			② 出来形とは、設計図書に示された工事			
				測定項目、測定基準及び規格値に基づく形制	代寸法を確保する管理体系である。	
【施設工事のうち	· 建筑工事】		④ 出来形管理項目を設定していない工事	は「c」評価とする。		
に他設工事のうち 考査項目	細別	а	b	С	d	
3 出来形及び出			」 ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 出来形が、測定項目、測定基準又は規	□ 契約書第17条に基づき、監督員からI
来ばえ	ТШЖЛ	●評価対象項目	1818/297 (87 0		格値を満足せず、監督員から工事打合	事打合簿による改造請求を行った。
		対象 評価			簿による改善指示を行った。	
		□ 承諾図等が、設計図書を満足している。	2			
		□ □ 施工図等が、設計図書を満足している。				
		□ □ 現場における出来形が設計図書を満足				
		□ 応工計画書等で定めた出来形の管理基	準に基づき、管理している。			
		□ □ 出来形の管理記録が適切にまとめられ	ており、結果が良好である。			
		□ □ 出来形の管理方法を工夫している。				
		□ □ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物	の範囲等が確認でき、処分が適切である。			
		□ □ 不可視部分となる出来形が、工事写真	、施工記録により確認できる。			
		●判断基準				
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満 または 上記に該当	e 上記に該当
		L	<u>┃</u>	▲ 事で評価対象となる項目について対象にチェ		
		# 13A1 至 - / //		を母数として、評価にチェックした比率(%)		
				:/ ()対象評価項目数<対象チェック総		
				項目数が2項目以下の場合はc評価とする		
【施設工事のうち	建築工事以外】					
考査項目	細別	а	b	С	d	е
3 出来形及び出	I 出来形	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 出来形が、測定項目、測定基準又は規	
来ばえ		●評価対象項目			格値を満足せず、監督員から工事打合 簿による改善指示を行った。	事打合簿による改造請求を行った。
		対象 評価			海による以告相小を11つた。	
		□ □ 設計図書に定められている品質管理を	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		□□材料及び構成部品の品質及び形状につ	いて、設計図書等と適合が確認できる証明書			
		□ □ 材料の品質照合の結果が、品質保証書	等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書			
		□ □ 設備、機器の品質、機能及び性能が、)				
		□ □ 設備全体としての運転性能が所定の能				
		□ □ 完成図書において、設備の機能並びに	性能及び操作方法が容易に判別できる資料を	整備していることが確認できる。		
		□ □ 完成図書において、単体品の製造年月	日及び製造者が判別できる資料を整備してい	ステレが確認できる		
		□□□設備全体及び各機器において、設計図				
		□□設備全体についての取扱説明書を工夫				
		□□完成図書で定期的な点検や交換を要す				
		□ □ 設備の構造において、点検や消耗品の				
		□ □ 不可視部分の写真記録が適切である。		•		
		●判断基準				
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満 または	e 上記に該当
		// 北川町で 甘:	① 火鼓「荻無牡魚頂口」のスナーツ装て	東で証に対角しなる頂目について対色にて	上記に該当	
		《判断基準》 		事で評価対象となる項目について対象にチェ を母数として、評価にチェックした比率(%)		
				とでは数として、評価にデエックしに比率(%) E/()対象評価項目数<対象チェック総		
				ノ () 対象評価項目数<対象デエック総 項目数が2項目以下の場合はc評価とする	奴/	
	1	•	- ほこ ない、 エヨスロック チュック 1をりが出しる	っしゅ メル・ム・しロルトロルカロはじ計判さりる		

別紙1(主任技術評価員7/8)

考査項目別運用表

(主任技術評価員)

	【土木工事】		【土木工事】							
	考査項目	細別								
		Ⅱ 品質		S	=	d	_			
19	来ばえ		て所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内であ	て所定の測定基準に基づき行われてお り、測定値が規格値を満足し、そのば	て所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、 a 及び	切であったため、監督員から工事打合				
1982 1985			《判断基準》							
						段階における品質確保のための管理体系であ	っる。			
本語文										
	【施設工事のうち	5建築工事】								
#15年	考査項目	細別	а	b	С	d	е			
		Ⅱ 品質	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない					
1	来ばえ						事打合簿による改造請求を行った。			
□ 日本 日本			対象 評価			簿による改善指示を行った。				
□ □ 本										
「職化の名物体におりますの。 高度が適可される。				確認でき、設計図書を満足している。						
□ □ 別名生生物:おけら終すのあれた。日本である。 □ □ 門外化上生力における長期の発表のフェネリ業、選工部会等が整備されている。 □ □ 日本の代表に対象では、大衛医学により実施でき、設計である。 □ □ 日本の代表に対象では、大衛医学によりで表現しませんが、通りである。 □ □ 日本の代表に対象では、大衛医学のようを対象を使われている。 □ □ 日本の代表に対象では、大衛医学のようを対象を使われている。 □ □ 日本の代表に対象では、大衛医学のようを対象を使われている。 □ □ 日本の経験に対象が、通常である。 □ □ 日本の経験に対象が、発表であるのが表が、通常である。 □ □ 日本の経験に対象が、通常である。 □ 日本の経験に対象が、通常を表している。 □ 日本の経験に対象が、通常を表しましている。 □ 日本の経典に対象が、通常を表しましている。 □ 日本の経過が表が、通常を表しましている。 □ 日本の経典に対象が、通常を表しましている。 □ 日本の経典に対象が、通常に対										
日本語のする注意に表現した 日本語の対象が、表別的によりに対象が、表別のである。										
□ 本可能用分となると高質確認のための工事写集、私工的経常が整備されている。 □ 20年 工程 計算 計画 2										
中部				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
「金橋正本9				事写具、施工記録等が整備されている。						
□ 機能・材料の高質が、発露図書により確認でき、設計図方を満足している。 □ は高度で表記機の内容が、送切である。 □ は高度で表記機の内容が、送切である。 □ は高度で表記機の内容が、送切である。 □ は高度である。			· ·							
□ 第工の保険院における完計等の以換が返及に発展の方法が、適切である。 □ 公 メテムの性能を収壊能に辿ける実施院、設定がある。 □ システムの性能を収壊能に避ける実施院、設定がある。 □ システムの性能を収壊能に避ける実施院、設定がある。 □ 小野 株式 *** *** *** *** *** *** *** *** ***										
□ □ 日前端記記機の内容が、適切である。 □ □ 日本の権権がある。 ● □ □ 日本の権権がある。 ● □ □ 日本の権権がある。 ● □ □ 日本の権権がある。 ● □ □ □ 日本の権を対象項目数がお表す。 ○ □ 日本の権権がある。 ● □ □ □ 日本の権権がある。 ● □ □ □ 日本のものを持たる。 ● □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 ■ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 ■ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本のを制権が対象権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本の権権がある。 □ □ □ 日本のを制権がある。 □ □ □ 日本のを制権がある。 □ □ □ 日本の権がある。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
○				伝及び記録の方法か、適切である。						
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
□ □ 本可報節分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ □ 本の他										
日本の他										
●判断基準 日 評価値が90%以上 日 評価値が80%以上90%末海 C 評価値が70%以上80%未満 C 評価値が70%は80%未満 C 評価値が70%は80%未満 C 評価値が70%は80%未満 C 評価値が70%は80%未満 C 評価値が70%は80%未満 C 評価値が70%は80%未満 E記に該当 上記に該当 上記のテェック後の評価対象項目数が20元との元の20元との名の評価する。				事子具、旭工記球寺が金浦されている。						
本 評価値が9 0 %以上 b 評価値が8 0 %以上9 0 %未満 c 評価値が7 0 %以上8 0 %未満 c 評価値が7 0 %以上8 0 %未満 c 評価値が7 0 %未満 注意は e 上記に談当 上記に該当 上記に該当 上記に該当 上記に該当 上記に該当 上記の方 ± 少々をの評価対象項目数を容数として、評価にチェックとた比単(%) 計算の値で評価する。										
				b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満 またけ	- ト記に該当			
(判断基準) ① 当該 評価対象項目」のうち、当該 二室で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数が2項目数を出版して、評価にチェックと比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数が(2) 対象解価項目数が2項目以下の場合はご評価とする 【施設工事のする建築工事以外) ・			a 計画區//- 9 U /05/上				6 工能化成当			
・			《判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当該工	- 事で評価対象となる項目について対象にチェ					
(統設工事のうち建築工事以外)				② 上記①のチェック後の評価対象項目数	を母数として、評価にチェックした比率(%)	計算の値で評価する。				
1 品質				③ 評価値(%)=()評価数	/ () 対象評価項目数<対象チェック総	数>				
3 出来形及び出 来ばえ				④ なお、上記①のチェック後の評価対象	項目数が2項目以下の場合はc評価とする					
適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 品質関係の測定方法又は測定値が不適	【施設工事のうち	5建築工事以外】								
東村合線による改造請求を行った。 事打合線による改造請求を行った。 事工会の主意の表現。 中断基準 ロースの他 ●判断基準 ロースのもの主意を満足している。 (判断基準) 日・評価値が70%以上80%未満 または 上記に該当 上記に該当 (判断基準) 日・計画が異項目のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記に該当 日本記に該当 (判断基準) 日・記に該当 (判断基準) 日・記に該当 (判断基準) 日・記に該当 (判断基準) 日・記に該当 (判断基準) 日・記に該当 (事務を持知を表現となる項目について対象にチェックしたと、まの値で評価する。 (事務を表現となる項目について対象にあるの値で評価する。 (事務を表現となる項目について対象による改善表記を表現となる項目について対象による改善表記を表現となる項目について対象による改善表記を表現となる項目について対象による改善表記を表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目について対象によるな表現となる項目に対				_		d				
		Ⅱ 品質		ほぼ適切である	他の評価に該当しない					
機器・材料の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 協工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 品質確認記録の内容が、適切である。 システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 機器・材料及び施工の品質が、良好である。 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 その他	来はえ						事打合簿による改造請求を行った。			
□ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 □ 品質確認記録の内容が、適切である。 □ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 □ 機器・材料及び施工の品質が、良好である。 □ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ その他 ●判断基準 ■ 評価値が90%以上 ■ b 評価値が80%以上90%未満 ■ c 評価値が70%以上80%未満 ■ 上記に該当 ■ 上記に該当 ■ 上記に該当 ■ と記に該当						海による以普拍示を行つた。 				
□ 品質確認記録の内容が、適切である。 □ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 □ 機器・材料及び施工の品質が、良好である。 □ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ その他 ●判断基準 ■ 評価値が90%以上 ■ b 評価値が80%以上90%未満 ■ に 評価値が70%以上80%未満 ■ 上記に該当上記に該当 ■ 上記に該当										
□ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 □ 機器・材料及び施工の品質が、良好である。 □ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ その他 ●判断基準 ■ 評価値が90%以上 ■ お評価値が80%以上90%未満 ■ は 評価値が70%以上80%未満 ■ 上記に該当				法及び記録の方法が、適切である。						
□ 機器・材料及び施工の品質が、良好である。 □ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ その他 ●判断基準 a 評価値が90%以上 b 評価値が80%以上90%未満 c 評価値が70%以上80%未満										
□ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ その他 ●判断基準 a 評価値が90%以上 b 評価値が80%以上90%未満 c 評価値が70%以上80%未満 d 評価値が70%未満 または L記に該当 【判断基準】 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数/() 対象評価項目数<対象チェック総数>					設計図書を満足している。					
■ 判断基準 a 評価値が90%以上 b 評価値が80%以上90%未満 c 評価値が70%以上80%未満 d 評価値が70%未満 または 上記に該当 【判断基準】 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)= () 評価数/ () 対象評価項目数<対象チェック総数>										
●判断基準 a 評価値が90%以上 b 評価値が80%以上90%未満 c 評価値が70%以上80%未満 d 評価値が70%未満 または 上記に該当 上記に該当 《判断基準》 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=() 評価数/() 対象評価項目数<対象チェック総数>				事写具、施工記録等が整備されている。						
a 評価値が90%以上 b 評価値が80%以上90%未満 c 評価値が70%以上80%未満 d 評価値が70%未満 または 上記に該当 (判断基準) ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数/() 対象評価項目数<対象チェック総数>										
《判断基準》 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数/() 対象評価項目数<対象チェック総数>						1 部件体27700/十分。	[ラコ)ァラナ W			
《判断基準》 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について対象にチェックする。 ② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数<対象チェック総数>			a 評価値か90%以上	D 評価恒か80%以上90%末満	C 評価値が / U %以上 8 U %末満		e 上記に該当			
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)= () 対象評価項目数〈対象チェック総数〉			《判断其淮》	① 当該「評価対象項目」のうち 当該下	 事で評価対象となる項目について対象にチェ					
③ 評価値(%)= () 評価数/ () 対象評価項目数<対象チェック総数>			" 1 1 H 1 E T //							

別紙1(主任技術評価員8/8) 考査項目別運用表 (主任技術評価員)

考査項目	細別	エヺ	工夫事項	
5 創意工夫	I 創意工夫	評価	評価	
		【施工】	【その他】	
		□ 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫または設備据付後の試運転調整に関する工夫	□ その他	
		□ 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫	(内容:	
		□ 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係に関する工夫	(理由:	
		□ 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。	□ その他	
		□ 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。	(内容:	
		□ 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。		
		□ 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。	。 □ その他	
		□ 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。	(内容:	
		□ 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。	(理由:	
		□ 10. 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	□ その他	
		□ 10. 文体工、生作工、た物工、仮技術、復工板、田田の寺の版的工に関する工人。 □ 11. 施工計画書及び写真管理(見取り図の活用、出来形寸法の見易さなど)等の工夫	(内容:	
		□ 11. 旭土計画書及び子具官は、完成り因の活用、田木がり伝の先易さなどが 寺の工人□ 12. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫	(理由:	
		□ 12. 盛工の帰回及、他の施工局と等の自座に関する工人 □ 13. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	(空田· □ その他	
		□ 13. 山米が久は山質の計例、集計、自座凶等に関する工人。 □ 14. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	(内容:	
		□ 14. 旭工官 達フクト、工量官 達フヘノム等の宿用に関する工大。 □ 15. I C T (情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。【2点の加点】	(理由:	
		□ 15.1 ℃ 1 (情報通信技術) を活用した情報化施工を取り入れた工事。 【2点の加点】 □ 16.特殊な工法や材料を用いた工事。	(埋田。)	
		□ 16. 粉殊な工伝や材料を用いた工事。 □ 17. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。		
		□ 17. 愛 (た) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大		
		(内容:		
		(理由:		
		【品質】		
		□ 19. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。		
		□ 20. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。		
		□ 21. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。		
		□ 22. 配筋・溶接作業等に関係する工夫		
		□ 23. その他		
		(内容:		
		(理由:		
		【安全衛生】		
		□ 24. 安全仮設備等の工夫 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)		
		□ 25. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。		
		□ 26. 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫		
		□ 27. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。		
		□ 28. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。		
		□ 29. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。		
		□ 30. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫		
		□ 31. その他		
		(内容:		
		(理由:		
	評価点	●留意事項		
		※1 「創意工夫」の評定に際しては、別に定める「工事共通仕様書」の規定に基づき受注者からの資料の提出があ		ļ
		※2 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点で評価し、最大7点の加点評価とする。なお、「15. I C T		ļ
			・マシンコントロール、TS・GPSや振動ローラの加速度応答を活用した締固め管理、TSやGNSSを活用した出来形管理、3D-CADを	<i>-</i>
		用いた施工管理)		
	点	※3 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的な内容及び理由を記載して加点する	する。なお、総括技術評価員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。	

考查項目別運用表 《総括技術評価員》) (総括技術評価員)

別紙2(総括技術評価員1/4)

考査項目	細別	а	b	С	d	е		
2 施工状況	Ⅱ工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		●評価対象項目	<u> </u>					
		対象 評価	評価					
			等による工期的な制約がある中で、後片付け	けなどを工期内に終わらせるなど余裕をもって	工事を完成させた。	□ 工程管理に関して、契約責任者から文		
		・制約内容		AL D. C. and		書又は監督員から工事打合簿による改 善指示を行った。		
		□□隣接する他の工事などとの工程調整に	収り組み、遅れを発生させることなく工事を	た完成させた。		音相がを打った。		
		・取り組み内容: □ □ 地元及び関係機関との調整に取り組み、	遅れた窓生されることかく工事な空間され	1-t-				
		・取り組み内容:	姓れを光生させることなく工事を元成さ	- 1-0				
		□ □ 工程管理を適切に行なったことにより、	夜間 土曜 日曜 祝日 (振巷休日を含む					
		た。	MIN, EME, ME, MIN, CALL					
		□ □ 工程管理に係る積極的な取り組みが見	うれた。	1た。				
		・取り組み内容:						
			を及ぼす工事(1ヶ月以上車線又は片側交互	通行規制を必要とする工事、または、災害復旧	日工事など)において、影響を縮小し早期に			
		工事を完成させた。						
			所の離隔《無施工延長》が3km以上)の工事	で、かつ同時期に施工がある場合において工程	2 管理を的確に行い、余裕をもって工事を完			
		成させた。						
		□□その他						
		・ 内容 ・ 理由						
		●判断基準						
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当		
		1	100 100 100 100 100 100 100 100 100 1					
		《判断基準》		二事で評価対象となる項目について対象にチェ		•		
				女を母数として、評価にチェックした比率(%)				
				女/()対象評価項目数<対象チェック総数	₹>			
考査項目	細別	-	④ なお、上記Uのナェック後の評価対象	泉項目数が2項目以下の場合はc評価とする	d			
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	a 優れている	 やや優れている	c 他の評価に該当しない	やや劣っている	e 劣っている		
2 旭土1人ル	血 女王对来	●評価対象項目	P に 後れ こし・ る	他の計画に該当しない	C C A J C C C C	д у сого		
		対象 評価	評価					
		□ □ 建設労働災害及び公衆災害の防止に向	□ 安全管理に関して、契約責任者から文					
		・取り組み内容:	書又は監督員から工事打合簿による改					
		□ □ 安全衛生を確保するための管理体制を	善指示を行った。					
		・取り組み内容:						
		□ 安全衛生を確保するため、他の模範と	なるような活動に積極的に取り組んだ。					
		・取り組み内容:	マ 晴っ 原 女田 ナーよい					
		□ □ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に ・取り組み内容:	こ以り組んだ。					
		□ □ 安全協議会での活動に積極的に取り組	はだ					
		・取り組み内容:	0720					
		□ □ 工事期間を通じて労働災害及び公衆災	喜並びに工事現場周辺の住民、通行者から第	安全対策に関する苦情が発生しなかった。				
		□□その他						
		・内容						
		・理由●判断基準						
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当		
		《判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当該コ		」 ツクする。			
				女を母数として、評価にチェックした比率(%)				
				女/()対象評価項目数<対象チェック総数	∜>			
			④ なお、上記①のチェック後の評価対象	東項目数が2項目以下の場合はc評価とする				

別紙2(総括技術評価員2/4) 考査項目別運用表 (総括技術評価員)

考査項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4 工事特性	I 施工条件等への	I 構造物の特殊性への対応	
· — - 1914	対応	□ 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事	□切・盛土量:50万㎡ < V。 □ケーソン:1基当たりの底面積100㎡ 以上。かつ、掘削深度30m以上。 □トンネル:3車線以上の大断面トンネ ル。または、非常駐車帯等を含む長大 (概ね2.0km以上)トンネル。 □ 情梁下部工:高さ30m <h。 <="" th="" □交通管制中央局設備又は施設制御中央局設備の設置。="" □対別高圧の受配電設備の設置。="" □橋梁上部工:最大支間長100m="" □特別高圧の受配電設備の設置。="" □集じん機を含むトンネル換気設備の設置。="" □集じん機を含むトンネル換気設備の設置。<="" 設置。=""></h。>
		Ⅱ 構造物固有の難しさへの対応	
		□ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事	□既設橋と新設橋の一体拡幅又は既設トンネルにおける断面拡幅工事。□鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事。
		□ 3. 構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事	□地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。 □特殊型式の橋梁工事(アーチ橋、斜長橋、吊橋等)。 □運用中の既設設備機能を確保しながら設備の改造等を行った工事。
		□ 4.その他 ・内容 ・理由	□その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 □その他、新工法又は新技術の適用など技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 □その他、コンピューターシュミレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等。
		Ⅲ 厳しい自然・地盤条件への対応	
		□ 5. 地下水の影響が大きな工事	□河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 □膨張性地山、多量の湧水、地質構造線による断層破砕帯などを通過したトンネル工事。
		□ 6. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事	□支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 □軟弱地盤上の緩速盛土などのため施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた 工事。
		□ 7. 急峻な地形での工事	□急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)□斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。□土石流危険渓流に指定された区域内における工事。
		□ 8. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	□海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 □波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。
		□ 9. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事	□国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。
		□ 10. その他	□その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。
		・内容	□その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		・理由 IV 厳しい周辺環境等、社会条件への対応	
		□ 11. 地盤の変更、近接構造物、地中埋設物等への影響を配慮する工事	□供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 □市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 □監視・観測等の結果に基づき、施工を行った工事。
		□ 12. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事	□ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 □地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。
		□ 13. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事	□市街地での夜間工事。DID地区での工事。
		□ 14. 現道上での交通規制に大きく影響する工事	□日断面交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 □日断面交通量が概ね1万台以上の道路で車線の切り回しを行った工事。 □日断面交通量が概ね7万台以上の供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 □工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。
		□ 15. 施工箇所が広範囲にわたる工事 □ 16. その他 ・内容 ・理由	□作業現場が広範囲に分布している工事。 □施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。
		V 長期工事における安全確保への対応 □ 17. 監理技術者又は主任技術者の専任を要する期間が12ヶ月を超え、かつ事故がなく完成した工事(文書警告に至らない事故は除く。)	
		●判断基準	
		I 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 Ⅱ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 Ⅲ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 Ⅳ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 Ⅴ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。	
評価	点	●留意事項 ※1 工事特性は、IからVの合計で最大20点の加点評価とする。 ※2 評価にあたっては、主任技術評価員等から工事内容の報告を受けるものとする。 ※3 主任技術評価員が評価する「5.創意工夫」との二重評価は行わない。	

考查項目別運用表 (総括技術評価員)

別紙2(総括技術評価員3/4)

考査項目	細別	а	a'	b	b'	С		
6 社会性等	Ι 地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
		●評価対象項目						
		対象 評価) . 49					
		□ □ 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。						
		(河川、海岸等の環境保全を具体的に実施した。または、国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。) ・取り組み内容:						
		□ □ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。						
		・具体的な調和内容:						
		□ □ 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 ・具体的なコミュニケーション内容:						
		7 (11 (10)	浩晃笙のボランティア汗動笙へ積極的に参加し	地域に貢献した				
		□ □ 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 ・具体的なボランティア活動内容:						
		711111	の支援又は行政などによる救援活動への積極的	た協力を行った				
		・具体的な協力内容:	シス族人は自然なこでよる状態自動 シバ質型的	な m/Jで11 フルC。				
			トB種▽けフライアッシュセメントB種を設計	図書に相定するコンクリートの種別毎に任音	で使用できるセメントの場合において積極的	なに使用した (使用可能数量において 当該		
		□ □ CO2排出削減に資する高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種を設計図書に規定するコンクリートの種別毎に任意で使用できるセメントの場合において積極的に使用した。(使用可能数量において、 セメントを50%以上使用した場合)						
		□ 国の認定を受けた地球温暖化対策に資する建設機械を積極的に使用した。						
		□ □ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。						
		・具体的なイベント:						
		□□その他						
		・内容						
		・理由						
		●判断基準						
		a 評価値が90%以上	a 評価値が80%以上90%未満	b 評価値が70%以上80%未満	b 評価値が50%以上70%未満	c 評価値が50%未満		
		"			,	または評価対象項目数が2項目以下		
		《判断基準		事で評価対象となる項目について対象にチェ				
		② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。						
				/ () 対象評価項目数<対象チェック総数	文>			
			④ なお、上記①のチェック後の評価対象	項目数が2項目以下の場合はc評価とする				

考査項目			法令遵守等の該当項目一覧表					
7 法令遵守等					_			
		措置内容		点数				
	□ 1. 資格停止 3 ヶ月以上			一 20点				
	□ 2. 資格停止 2 ヶ月以上 3			一 15点				
	□ 3. 資格停止 1 ヶ月以上 2	2ヶ月未満		一 13点				
	□ 4. 資格停止 2 週間以上 1	ケ月未満	一 10点					
	□ 5. 文書警告			- 8点	1			
	□ 6. 口頭注意			- 5点	7			
	□ 7. 工事関係者事故または (契約責任者が不問と半	は公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭ネ 川断した案件。または、もらい事故や交通事故は含まない	主意以上の処分がなかった場合 い。)	- 3点]			
	□ 8. その他			- 点				
	・内容							
	• 理由							
	□ 9.項目該当なし			減点無し	1			
				***************************************	-			
	● 留意事項 ① 本評価項目(7. 法令遵守	F等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事[関係者が下記の適用事例で上表の措置z	があった」場合に適用する。				
		とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所		V 35 2 1 C 3 7 7 1 C 2 7 1 7 3 0 0				
			-		フェルラの公主トッセルで四点トッ			
		を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術を			るために従事する者に限定する。			
	なお、短期加重措置に基 ただし、上表に示す措置 ⑤ 工事関係者事故もしくに	「る場合は、各措置内容に応じた資格停止月数を加算して 基づく措置内容を適用した場合は、当該措置(短期加重排 置内容5~8までに該当する措置は加算せず、上位の措置で は公衆損害事故(以下「工事中事故」という。)が発生で 超える工事で、かつ以下の条件をすべて満たす工事におい	措置を含む)内容に応じた点数で評価⁻ 内容で評価する。 ∪、上表の措置内容(措置内容1から措	する。 f置内容8)により減点する必要がある場合において、当	該工事が監理技術者又は主任技術者の専任を			
	【条件】							
	② 上表の措置内容(措置内容1から措置内容8)に適合する工事中事故が2回以上発生していない。							
	③ 主任技術評価員及び総括技術評価員が評価する2. 施工状況「Ⅲ. 安全対策」の評価が「 c 評価以上」である。							
	③ 主任技術計画員及び総括技術計画員が計画する2. 施工状况「m. 安主対東」の計画が「C計画以上」である。 【上記で評価する場合の適用事例】							
考査項目	1. 入札前に提出した確認 2. 承諾なしに権利または 3. 使用人に関する労働条 4. 産業廃棄物処理法に違 5. 当該工事関係者が贈収 6. 建設業法に違反する 7. 入国管理法に違反する 8. 労働基準法に違反する 9. 監督または検査の実が 10. 下請代金を期日以内 11. 過積載等の道路交通 12. 受注企業の社員に「 13. 下請けに暴力団関係 機の設置等を行っている 14. 安全管理の処分が不 15. その他契約違反に該	股資料等において虚為の事実が判明した。 は義務等を第三者に譲渡または承継した。 条件に問題があり送検された。 違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、 双期等により逮捕または公訴された。 事実が判明した EX) 一括下請け、技術者の専任違反等 5外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 6事実が判明し、送検等された。 位にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治に支払っていない、不当に下請代金の額を減じている、 法違反により、逮捕または送検等された。 指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体) 企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策 5事実が判明した。 適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事 当する事実が判明した。EX)社会保険未加入建設業者を一	力等の圧力をかけ、妨害した。 あるいはそれに類する行為があるなど 」に所属する構成員、準構成員、企業 法第9条に記されている、砂利、砂、	下請代金遅延等防止法第4条に規定する親事業者の順等 全舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガート				
8 総合評価	評価対象外	評価 評価項目						
			□履行	□ 不履行				
			_	理由:				
			□ 履行					
				理由:				
				姓田.				
	●四辛市モ		L					
評価	別に設定する。 なお、評価項目を複数オ	ける技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合 さめた場合に設定するペナルティは最大10点まで減点な に対するペナルティは、該当する考査項目において減点な	の対象とする。(未実施項目毎に5点		♡「簡易な施工計画」のそれぞれの評価項目			

考査項目	細別	а	b	С	d	е
2 施工状況	I 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目				•
		対象 評価				評価
		□ □ 契約書(条件変更等)第18条第	1項第1号~5号に基づく設計図書の	照査を行っていることが確認できる。		□ 施工管理について、契約責任者
		□ □ 施工計画書が工事着手前に提出さ	れ、所定の項目が記載されているとと	もに、設計図書の内容及び現場条件を反	反映したものとなっていることが確認	から文書または監督員から工事
		できる。				打合簿による改善指示に従わな
			事全般にわたって実施する体制が施工			かった。
			記載内容と現場施工方法が一致している。			
		□ □ 現場条件又は計画内容に変更が生	じた場合は、その都度当該工事着手前に	こ変更計画書を提出していることが確認	忍できる。	
		┃ ┃ □ □ 工事材料の品質に影響が無いよう	丁東村率は、伊笠1 ブルスとしが強烈で	と フ		
			工事材料を保官していることが確認で 技術者による関係書類、出来形、品質(·	、スプレが12km ガキス	
		□ □ 前負官理件前が確立され、同一な	投州有による関係青類、山米形、前員。	寺の唯説を工事生放に初たつ(11つ(1	「ることが確認できる	
		□ □ 検査立会の手続きを事前に行って	いることが確認できる。			
		□ □ 建設廃棄物について、産業廃棄物		こ処理されていることが確認できる。		
			令等に沿った内容で適確に整備してい			
			査を書面で実施していることが確認で			
		□□□工事の関係書類を不足なく簡潔に				
		□ □ 受注者が自らの管理基準に基づき				
		□□□その他				
		- · 内容				
		· 理由				
		江 田				
		●判断基準				
		a 評価値が90%以上	b 評価値が80%以上90%未満	c 評価値が70%以上80%未満	d 評価値が70%未満	e 上記に該当
		7.5.			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
		《判断基準》	① 当該「評価対象項目」のうち、当			
				目数を母数として、評価にチェックし		
				価数/()対象評価項目数〈対象チ		
			④ なお、上記①のチェック後の評価	対象項目数が2項目以下の場合はc評	価とする	

別紙3(検査員②2/15) 考査項目別運用表 (検査員)

【施設工事のうち建築			,					
<u>考査項目</u> 3 出来形及び出来	細別 細別	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	<u>c</u> 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
が成り出来	1 山木形	●評定対象項目	りより優れている	つら後れている	しより優れている	他の計画に該当しない	してお週りである	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
1572		対象 評価 □ 承諾図等が、設計図書を満足 □ 施工図等が、設計図書を満足	していることが確認できる。 基準を設定し、計画に基づく管理を 良好であることが確認できる。 いることが確認できる。 図書を満足し、適切な施工であるこ 施工の精度が高い。 工事写真、施工記録により、確認で 去対象物の範囲等が確認でき、適切	とが確認できる。 きる。 な処分をしていることが確認できる	•		F 1 10ml	評価 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		●判断基準						
		a 評価値が90%以上	a 評価値が80%以上	b 評価値が70%以上	b 評価値が60%以上	c 評価値が60%未満	d 上記に該当	e 上記に該当
【施設工事のうち建			③ 評価値 (%) = () ④ なお、上記①のチェック後の記	象項目数を母数として、評価にチェ ・評価数/()対象評価項目数 評価対象項目数が2項目以下の場合	〈対象チェック総数〉 は c 評価とする			
考査項目 3 出来形及び出来	細別	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	<u>c</u> 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
3 田木形及び田木 ばえ	1 田木形	●評定対象項目	りより優れている	つつ愛れている	Cより優れている	他の評価に該当しない	つつ不過切である	<u> </u>
		対象 評価 □ □	部分の出来形が写真で的確に判断で定して、適切に管理している。 編)の管理項目を満足し、適切に管 が設計値(設計図書)を満足してい 直(設計図書)を満足している。	理している。 る。 b 評価値が70%以上	b 評価値が60%以上	c 評価値が60%未満	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	評価 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 e 上記に該当
		評価値の算出	③ 評価値 (%) = ()	、当該工事で評価対象となる項目に 象項目数を母数として、評価にチェ ・評価数/()対象評価項目数 評価対象項目数が2項目以下の場合	ックした比率(%) 計算の値で評価 〈対象チェック総数〉			

考査項目	細別	【土木工事のうちコンクリート構造物エ	事】					
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	а	а'	b	b'	С	d	е
ばえ		□ 品質関係の試験結果のばらつき	と評価対象項目の履行状況(評価	直)から判断する。<判断基準参照	>		□ 品質関係の測定方法又は測定	□ 品質関係の測定方法又は測定
			管理要領、その他設計図書に定めら				値が不適切であったため、監	値が不適切であったため、検
							督員が文書で指示を行い改善	査員が修補指示を行った。
		●評定対象項目					された。	
		対象 評価					╡	
			の町会社験及び建設体にな事権し	アルステルが確認できる				
					D 10 14 11 24 27			
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー				10-6-77 - 10-7		
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー			打ち込み時間、スフンプ、空気量等))が確認できる。		
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー						
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー						
		□ □ 圧縮及び曲げ強度試験に使用し	レたコンクリート供試体が、当該現 場	場の供試体であることが確認できる 。				
		□ □ 施工条件や気象条件に適した過	重搬時間、打設時の投入高さ及び締固	め方法が、定められた条件を満足し	ていることが確認できる。(寒中及	び暑中コンクリート等を含む)		
		□ □ コンクリートの圧縮強度を管理						
		□ □ コンクリートの養生が、設計図	図書の仕様を満足していることが確認					
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー	、構造物の非破壊試験(圧縮、鉄筋	いぶり)を実施しており、規格値を	満足していることが確認できる。			
		□ □ 設計図書に基づき鉄筋の日常管			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
		□ □ 設計図書に基づき鉄筋の加工限			が試験成績表等から確認できる			
		□□鉄筋等の鋼材を直接地上に置く				茶していることが確認できる		
		□ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計			■〜物口には過当な復V・6 旭し(川川	既していることが推動できる。		
					4 F 校々はなるかまかまってもフ			
		□ □ 設計図書に基づき鉄筋のガス月						
		□ □ 設計図書に基づき鉄筋のガス月						
		□ □ 設計図書に基づき鉄筋の機械終						
		□□ 設計図書の仕様を満足している	るスペーサーを使用し、鉄筋のかぶ)を確保していることが確認できる。				
		□ □ コンクリートの打継目の処理な	ぶ設計図書に基づき適正に処理されて	ていることが確認できる。				
		□ □ 有害なクラックが無い。						
		□ □ その他						
		 内容 						
		理由						
		●判断基準						
				ばらつきで判断可能		122 - t. rebulber - The	d 上記に該当	e 上記に該当
			50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a '	b	b		
		評 80%以上90%未満	a '	b	b '	b '		
		価 70%以上80%未満	b	b ,	c	c		
		值 60%以上70%未満	b,'				-	
			-	С	С	С	_	
		60%未満	c	С	С	С		
		三方 ケート の 佐口	② 业計「無何业免疫口、のごよ	ルオーキ~平ケルを1 かって 口に	- ハマ苔灰の青笠は「牡佐・ルイ	h.la v		
		評価値の昇出	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ついて評価の事前に「対象」にチェン	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
					ックした比率(%) 計算の値で評価す	- る。		
				評価数/()対象評価項目数				
			④ なお、上記①のチェック後の記	平価対象項目数が2項目以下の場合	はc評価とする			
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
		●留意事項						
		※ 試験結果の打点数等が少なくに	ばらつきの判断が出来ない場合は、	「ばらつき判断不可能」として評価	対象項目(評価値)だけで評価する。			
		※ 評価項目は検査時に行われてい	いない項目もあることから、その場合	合は、当該工事の監督員等からの聞	き取りにより確認することができる。			

用表 (検査員)

	考査項目	細別	【土木工事のうち切盛土工工事】						
個主		Ⅱ 品質	а	a '	b	b'	С	d	G
●押変対象項目	ばえ						•		□ 品質関係の測定方法又は測定
●			[関連基準、土工施工管理要領	頁、その他設計図書に定められた試験]				値が不適切であったため、検
特別									査員が修補指示を行った。
□ 雨 雨水による焼焼が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □ 設計図書に基づき網リは盛力が無に大空も特別を投き実施していることが確認できる。 □ 設はのまた (路体、 路床、機造物度込め等) の施工前に 基準試験及びモデル施工を実施しており、その結果を反映した施工機械、施工方法、品質管理方法、施工管理体制で施工していることが確認できる。 □ 設計図書に基づき部の返工時に日常管理試験を実施しており、経土の品質(結固め度)が確認できる。 □ 設計図書に基づき部分のアルーフローリングを行っていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき部分に 別が無い。 □ 設計図書に基づき 計 計器 (活過型R I 水分密度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき (計分器 (活過型R I 水分密度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づきが出からの経年素が至らないることが確認できる。 □ 設計図書に基づきが知力的が確保とまないて、とが確認できる。 □ 設計図書に基づき (初 H			●評定対象項目			一 された。			
□ 設計の場に基づき組削又は廃土の施工に先立ち使間除性を実施していることが確認できる。 □ 設切のが施工前に適切に行われていることが確認できる。 □ 設計の書に基づらとが確認できる。 □ 設計の書に基づきを出か配工時に日常管理対験を実施しており、盛土の品質(締固め度)が確認できる。 □ 設計の書に基づき登上の施工時に日常管理対験を実施しており、盛土の品質(締固め度)が確認できる。 □ 設計図書に基づきを引 計器 (透過型 R I 未分密度計器)の性能確認対験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づきを R I 計器 (透過型 R I 未分密度計器)の性能確認対験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づきを R I 計器 (透過型 R I 未分密度計器)の性能確認対験を受けていることが確認できる。 □ 財			対象 評価					1	
映切りが終工制に適切に行われていることが確認できる。 設計図書に基づき極美の裏込め等) の施工前に基準試験及びモデル施工を実施しており、その結果を反映した施工機械、施工方法、品質管理方法、施工管理体制で施工していることが確認できる。 設計図書に基づき略成のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 設計図書に基づき解析のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 設計図書に基づき明末時に目常管理試験を実施しており、盤土の温度(締固め度)が確認できる。 設計図書に基づき切土端の路床調査を実施していることが確認できる。 設計図書に基づき切土端の路床調査を実施していることが確認できる。 設計図書に基づき切土端の路床調査を実施していることが確認できる。 関計図書に基づき物別地盤上の盗土において、盗土の施工計画と併せて動態機測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 での他 内容 ・ 理由 1									
□									
こことが確認できる。 設計図書に基づき略元の地に日常管理試験を実施しており、盛土の品質(締固め度)が確認できる。 設計図書に基づき略元のプルーフローリングを行っていることが確認できる。			□ □ 段切りが施工前に適切に行わ	れていることが確認できる。					
□ 設計図書に基づき盛上の施工時に日常管理試験を実施しており、盛土の品質 (締固め度) が確認できる。 □ 設計図書に基づき路床のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 □ 設計図書に基づきRI計器 (透過型RI水分態度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づきRI計器 (透過型RI水分態度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 財計図書に基づきRI計器 (透過型RI水分態度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 日・非外構造物の医部が清らかで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき軟弱地盤上の盛上において、盛上の施工計画と併せて動態製測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 ・ 内容 ・ 内容 ・理由					バモデル施工を実施しており、その結果	を反映した施工機械、施工方	方法、品質管理方法、施工管理体制で施		
□ 設計図書に基づき路床のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 □ 法面に有害な鬼裂が無い。 □ 設計図書に基づき別 I 永分密度計器)の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき切上部の路床調査を実施していることが確認できる。 □ 別・排水構造物の底部が清らかで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 日 計画と供せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 □ その他 ・ 内容 ・ 理由 ●判断基準 □ はらつきで判断可能 □ 150%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能 □ 150%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 □ 150%以上 80%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 □ 150%以上 80%以上 80%以上 80%を超える はらつきで判断不可能 □ 150%以上 80%以上 80%を超える はらつきで判断不可能 □ 150%以上 80%が表演				0	サーの日原(韓田は南) バカコマネス				
□ 法面に有害な鬼裂が無い。 □ □ 設計図書に基づき取 I 計器 (透過型R I 水分密度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ □ 散計図書に基づきがよがの路保調金を実施していることが確認できる。 □ □ 財・構造物の医保が滑らかで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ □ 取計図書に基づき軟弱地盤上の盛土において、盛土の施工計画と併せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 □ 七記に該当 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
□ 設計図書に基づき R I 計器 (透過型R I 水分密度計器) の性能確認試験を受けていることが確認できる。 □ 開・排水構造物の医療が消含かで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 日 用・排水構造物の医療が消含かで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき軟弱地盤上の盛土において、盛土の施工計画と併せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 ・ 内容 ・理由 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断不可能 90%以上 80%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 e 上記に該当 90%以上 90%未満 a a a b b b b' b b' b' c c c 値 60%以上70%未満 b' c c c c c				一フローリングを行っていることが何	住心 でさる。				
□ 設計図書に基づき切土部の路床調査を実施していることが確認できる。 □ 用・排水構造物の底部が滑らかで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき軟弱地盤上の盛土において、盛土の施工計画と併せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準 ばらつきで判断可能 「50%以下 80%及下 80%を超える ばらつきで判断不可能 90%以上				香温刑 D I 水公宓 由 計 型) の 性 能 確 言	刃討略を受けていることが確認できる				
□ 用・排水構造物の底部が滑らかで計画流水方向が確保されていることが確認できる。 □ 設計図書に基づき軟弱地盤上の盛士において、盛土の施工計画と併せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 □ 内容 ・理由 ●判断基準 ばらつきで判断可能 はらつきで判断不可能 はらつきで判断不可能 はらつきで判断不可能 80%以下 80%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 80%以上の必未満 a a b b b b b c c c c c									
□ 設計図書に基づき軟弱地盤上の盛土において、盛土の施工計画と併せて動態観測を計画しており、観測結果を的確に施工に反映されていることが確認できる。 □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準 □ はらつきで判断可能 □ 50%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 ■ 90%以上 a a a' b b b' b' a c c c c c c c c c c c c c c c c c c									
・ 内容 ・ 理由						果を的確に施工に反映されて	ていることが確認できる。		
・理由 ●判断基準 1			□ □ その他				· · · · · · · · · · · · · · · · ·		
●判断基準									
はらつきで判断可能			・理由						
はらつきで判断可能			●和胚苷港	<u> </u>					
50%以下 80%以下 80%を超える はらづきで判断不可能 90%以上 a a' b b b B B B B B B B			●刊酬签字		ばらつきで判断可能		1 19 St. Le Martille To The	d 上記に該当	e 上記に該当
評 80%以上90%未満 a' b b' b' (個) 70%以上80%未満 b b' c c (値) 60%以上70%未満 b' c c c				50%以下	80%以下	80%を超える	―― はらつきで判断不可能		
70%以上80%未満 b b' c c 値 60%以上70%未満 b' c c				a	a'	b	Ъ		
値 60%以上70%未満 b' c c c				a'		b'	b '		
			11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	b	b'	С	С		
$oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$ $oxed{c}$				b '	С	С	С		
			60%未満	С	С	С	С		
			評価値の昇生						
評価値の算出 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該工事で評価対象となる項目について評価の事前に「対象」にチェックする。							買りる。		
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。									
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数/ () 対象評価項目数<対象チェック総数>				① なもの、工品①の クエクク 及のに		пщело			
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。			●留意事項						
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(※ 試験結果の打点数等が少なく	ばらつきの判断が出来ない場合は、	「ばらつき判断不可能」として評価対象	は項目(評価値)だけで評価す	ける。		
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=() 対象評価項目数<対象チェック総数> ④ なお、上記①のチェック後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする			※ 評価項目は検査時に行われて	いない項目もあることから、その場合	合は、当該工事の監督員等からの聞き取	りにより確認することができ	きる。		
② 上記①のチェック後の評価対象項目数を母数として、評価にチェックした比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 対象評価項目数⟨対象チェック総数⟩ ④ なお、上記①のチェック後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする ●留意事項									

考査項目 細別	【土木工事のうちのり面工事】	,	, , ,	1 7			1
出来形及び出来 │Ⅱ 品質 ばえ	a □ 品質関係の試験結果のばらつ	a	b b から判断する < 判断其準参昭 >	b'	С	d □ 品質関係の測定方法又は測定	e □ 品質関係の測定方法又は測定
/ -		さて評価対象項目の履行状况 (評価値) 里要領、その他設計図書に定められた試				値が不適切であったため、監	値が不適切であったため、検
		<u> </u>				督員が文書で指示を行い改善	
	●評定対象項目 ***					一 された。 一	
	対象 評価 【共通】						
	□ □ □ ★共 迪』 □ □ 施工基面を平滑に仕上げてい	ることが確認できる。 (特に法枠工 :	コンクリート又はモルタル吹付T閚	係)			
	□ □ 施工に際して、品質に害とな						
	□ □ 盛土の施工にあたり、法面の	崩壊が起こらないよう締固めを十分行っ	っていることが確認できる。				
	□□その他						
	・内容 ・理由						
	【種子吹付工、客土吹付工、	厚層基材吹付工関係】					
	□ □ のり面調査(土壌調査、のり			確認できる。			
	□□使用する材料の種類、品質、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□						
	□ □ 現場に搬入された種子が速や □ □ 金網の継目が1目半以上重ね		打口光や雨霧にさらさないようにし	ていることが確認できる。			
	□□□ 空柄の極日が1日十以上里ね						
	□ □ 施工時期が標準施工適期であ						
	□□その他						
	・内容 ・理由						
	・ _{埋田} 【コンクリート又はモルタル	吹付工関係】					
	□ □ 設計図書に基づきコンクリー		る材料の基準試験を実施しているこ	とが確認できる。			
	□ □ 設計図書に基づきコンクリー		試験を実施しており、コンクリート	(モルタル) の品質が確認できる	3.		
	□ □ 金網の継目が1目半以上重ね		la er i v 7 = 1. iv main en e e				
	□□ 吹付けの施工範囲(圧送距離 □□ 圧縮及び曲げ強度試験に使用						
	□ □ 広幅及び曲り強度試験に使用		ク 探 外 体 し ひ る こ と が 唯 応 と さ る 。				
	□ □ 不良箇所が生じないよう跳ね		認できる。				
	□ □ 法肩の吹付けにあたり、地山	に沿って巻き込んで施工していることフ	が確認できる。				
	□□その他						
	・内容 ・理由						
	【現場打法枠工関係】						
	□ □ 設計図書に基づきコンクリー			_			
	□□設計図書に基づきコンクリー			できる。			
	□ □ 圧縮及び曲げ強度試験に使用 □ □ 枠内に空隙がないことが確認		ル供試体であることが確認できる。				
	□□□打継ぎ目が横梁の中央部に設		で、継目処理を適切に行っているこ	とが確認できる。			
	□ □ 不良箇所が生じないよう跳ね						
	□□その他						
	・内容						
	・理由 【切土補強土工関係】						
	□□設計図書に基づき施工前に、	使用する材料の基準試験を実施してい	ることが確認できる				
	□ □ 設計図書に基づき施工時の日	常管理試験を実施しており、使用する材	材料の品質が確認できる。				
	□□アンカーの施工が設計図書の			1 . 7 - 1 .1°74.27 2 -			
	□ □ 設計図書に基づき補強材一段 □ 動態観測を設計図書に基づき						
	□□□ 期 思 観 側 を 設 計 凶 書 に 基 つ さ	大心しくやり、戦例和木をDMEに脚上(に火吹で41にいることが傩秘じるる				
	• 内容						
	・理由						
	●判断基準		ばらつきで判断可能			d 上記に該当	e 上記に該当
		50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	4 上时1000日	こ上記で図目
	90%以上	a	a '	b	b		
	評 80%以上90%未満	a '	b	b '	b '		
	価 70%以上80%未満 値 60%以上70%未満	b '	b '	c	С		
	60%以上70%未満	D C	c c	c c	c c		
	2 2 7 2 X I 4 III 4	-					
	評価値の算出	① 当該「評価対象項目」のうち、					
		② 上記①のチェック後の評価対象 ¹			する。		
		③ 評価値 (%) = () i④ なお、上記①のチェック後の評価					
			m/13か、スロダル、2・スログー V2勿口 ('s	O H I IIII C 7 " O			
	●留意事項						
		ばらつきの判断が出来ない場合は、「I いない項目もあることから、その場合I					
	※ 計画項目は快宜可に打われて	いない投口ひめることがり、てい場合[・、コ は 上 ま い 血 自 良 寺 か ら い 関 さ	以ソにより唯恥り ることかじさん	℃ .		

考査項目	細別	【土木工事のうち基礎工事】										
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	а	a'	b	b'	С	d	е				
ばえ			pきと評価対象項目の履行状況(評価値)か 要領、その他設計図書に定められた試験]	ら判断する。<判断基準参照>		•	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。				
		●評定対象項目					された。	正具 / 10 111111111111111111111111111111111				
		対象 評価										
		【既成杭関係(コンクリート・鋼管			In the most but also as a second							
			è査を実施しており、規格(形状寸法の規定 ₫くことなく、適当な間隔で支持して、倉庫									
			【\ここな\、適ヨな間隔(又行して、肩庠 なび場所打杭の施工管理の方法が整備されて			灯風していることが惟恥できる。						
			L及び品質管理が適正であることが確認でき									
		□ □ 杭頭処理において、杭本体を	2.134									
			『斜が、設計図書を満足していることが確認 『及び品質管理に関して設計図書の仕様を満									
		□ □ 設計図書に基づき施工記録が		一位ででいることが推動できる。								
		□ □ その他										
		・内容										
		・理由										
		【場所打ち杭関係】										
		□ □ 支持地盤に達していることが	、既存の土質データとの比較や掘削深さ、	掘削土砂等により確認できる。								
			-管をコンクリート内に2m以上挿入して施									
			く位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の 管理試験及び基準試験を実施しており、鉄		↑凶書を満足していることが確	認できる。						
			『生れ状及り室中的状を天旭しており、 くことなく、適当な間隔で支持して、倉庫		場合には適当な覆いを施して	貯蔵していることが確認できる。						
			├図書の仕様を満足していることが確認でき			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
			、るスペーサーを使用して適切に配置し、鉄									
		□ □ 設計図書に基つきコンクリー る。	-ト(裏込めグラウト、孔壁保護モルタルラ/	イニンク上を含む)の日常管理試)、コングリートの品質か確認でき						
		□ □ コンクリートの余盛や杭頭の)処理が適切であることが確認できる。									
			変形、ゆるみのがなく設置されていること	が確認できる。								
		□□設計図書に基づき施工記録が	「整備されていることが確認できる。									
		□ □ その他 ・内容										
		理由										
		【ケーソン関係】) \ 7 7 ft = 37 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \									
		□ □ 刃口の据付が適切であること	: か傩祕でさる。 ゞ、既存の土質データとの比較や掘削深さ、	掘削土砂等に上り確認できる								
			常管理試験及び基準試験を実施しており、鉄									
		□										
			-	-								
			\るスペーサーを使用し、鉄筋のかぶりを確 - トの日常管理試験及び基準試験を実施して		1 ベキ ス							
		□□□ 改訂図書に基づきコングリー□□□ その他	「い口吊官」生的級及い基中的級を美地して	. わり、コンクサートの面員が催記	が C さ る。							
		・内容										
		・理由										
		●判断基準										
		0 1 阿亚牛		ばらつきで判断可能) 10 A	d 上記に該当	e 上記に該当				
			50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能						
		90%以上	a	a '	<u>b</u>	b	_					
		評 80%以上90%未満	a b	b '	b' c	b' c	-					
		值 60%以上70%未満	b'	С	c	c						
		60%未満	С	С	С	С						
		到 F (本 の 答)	ローの 小井「部屋具を頂口」のます。小井	マオペジ(年444) より(第日)との)	マ証何の事故に「牡舟」にて	h 7						
		評価値の昇	出 ① 当該「評価対象項目」のうち、当該 ② 上記①のチェック後の評価対象項目		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
			③ 評価値 (%) = () 評価			4 / 6/0						
			④ なお、上記①のチェック後の評価対	†象項目数が2項目以下の場合は c	評価とする							
		▲郊辛市店										
		●留意事項※ 試験結果の打点数等が少なく	ばらつきの判断が出来ない場合は、「ばら	っつき判断不可能」として評価対象	は項目(評価値)だけで評価す	る。						
			こいない項目もあることから、その場合は、									

考査項目	細別	【土木工事のうちトンネル工事】						
出来形及び出来		a	a '	b	b'	c	d	е
ばえ		□ 品質関係の試験結果のばらつき	きと評価対象項目の履行状況(評	価値)から判断する。<判断基準参照		<u> </u>	□ 品質関係の測定方法又は測定	□ 品質関係の測定方法又は測定
		[関連基準、土木工事施工管理	基準、その他設計図書に定められ	た試験]			値が不適切であったため、監	値が不適切であったため、検
							督員が文書で指示を行い改善	査員が修補指示を行った。
		●評定対象項目					された。	
		対象 評価						
		【本体工】						
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー						
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー				to El Maria and an analysis		
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー			、打ち込み時間、スフンプ、空	2気量等) が確認できる。		
		□□設計図書に基づきコンクリー						
		□□設計図書に基づきコンクリー				て映芸していることが強烈でもる		
		□ □ 鉄筋等の鋼材を直接地上に置ぐ □ □ 圧縮強度試験に使用したコンク			直く場合には過当な復いを施し	ノ(<u>灯</u> 楓 し(いることが傩祕できる。		
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			していることが確認できる			
		□ □ 設計図書に基づきロックボル				こに使用する材料の品質が確認できる		
		□ □ 設計図書に基づき鋼アーチ支側				17年以前 5 初州の加東が推薦できる。		
		□□□設計図書に基づき防水工の材料			W HERD CC DO			
		□ □ 吹付コンクリートの施工にあた			n以下で地山と密着するよう施工	工していることが確認できる。		
		□ □ 金網の継目が1目半以上重ねる	合わせていることが確認できる。		, , , , <u> </u>			
		□ □ 吹付コンクリートを打継ぎする	る場合は、吹付完了面を清掃した	上、湿潤状態で施工していることが確	認できる。			
		□ □ 防水工に防水シートを使用する	る場合は、ロックボルト等の突起	物にモルタルや保護マットなど保護を	で防護対策を行っていることが	が確認できる。		
		□ □ 設計図書に基づき計測管理を目	日々行っており、その結果に基づ	いた施工を行っていることが確認でき	る。			
		□ □ ロックボルトの定着長が、設計	計図書の仕様を満足していること	が確認できる。				
		□ □ 覆エコンクリート型枠脱型時期			していることが確認できる。			
		□ □ 設計図書に基づき、排水工の路	烙床においてプルーフローリング	を実施していることが確認できる。				
		□□その他						
		・内容						
		・理由						
		【トンネル内装工】	日の甘油計略ロバウサ料料をよって	1 アより 口所ようかきなった オフ				
		□□設計図書に基づき内装工の材料						
		□ □ 覆工面は、直張りの前に水洗レ □ □ 接着剤の塗り付けがクシ目ゴラ						
		□ □ 接着剤の盛り付けがクショコラ □ □ 目地材は、目地用モルタルを			レが確認できる			
		□ □ 日地材は、日地用モルタルをF □ □ タイルの上端及び横端部にシー			この神能的できる。			
		□□□その他	グング物を二角に施工してるこ					
		・内容						
		• 理由						
		●判断基準					-	
				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	d 上記に該当	e 上記に該当
			50%以下	80%以下	80%を超える	はりつきて刊刷作可能		
		90%以上	a	a '	b	b		
		評 80%以上90%未満	a'	b	b '	b '		
		価 70%以上80%未満	b	b '	С	С		
		值 60%以上70%未満	b '	c	С	С		
		60%未満	c	c	С	С		
		27: for life - felt 11:		シールサーオーエアリカ しとマー・	- ハマ部ケの事業に「ロケー・			
		評価値の算出		ち、当該工事で評価対象となる項目に				
				対象項目数を母数として、評価にチェ) 評価数/()) 対象評価項目数		計1四9つ。		
				の評価対象項目数が2項目以下の場合				
			む はや、工品型の/エック後	▽▽□	するでは一種にする			
		●留意事項						
			ずらつきの判断が出来ない場合は	、「ばらつき判断不可能」として評価	i対象項目(評価値)だけで評価	重する 。		
				場合は、当該工事の監督員等からの間				

考査項目別運用表

考査項目	細別	【土木工事のうち舗装工事】						
3 出来形及び出来	Ⅱ品質	a DESHER OF SEA (4 H P P) I'S	a'	b	b'	С	d	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
ばえ			きと評価対象項目の履行状況(評価! !基準、その他設計図書に定められた	値)から判断する。<判断基準参照>			□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
		L	-五十、(ツ虺双川囚音に比めり私/	C NOW H			個が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善	値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
		●評定対象項目					ont.	
		対象 評価					7	
		【路盤関係】	T 07+1-101-3-1-104 AH		冷却でンフ			
		□□□設計図書に基づき、路盤準備□□□□設計図書に基づき施工前に材料			唯秘じさる。			
		□ □ 設計図書に基づき施工前に材料 □ □ 路盤の本施工の前に試験舗装を					1	
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			潅認できる。			
		□ □ その他			- - v		1	
		・内容						
		・理由					1	
		【アスファルト舗装工関係】 □ 舗装工の施工にあたって、上層	暑敗般而の浮き石わじの右宝畑ナ ゆ	去していることが確認できる			1	
		□□□ 翻装工の施工にあたって、上層□□□ 設計図書に基づき施工前に材料					1	
		□ □ アスファルト舗装の本施工の前			確認できる。		1	
		□ □ 設計図書に基づきアスファル	ト舗装の本施工時に日常管理試験(一般物理試験、混合物温度、アスファル		施しており、舗装の品質が確認でき	1	
		□□舗設後の交通開放が、定められ					1	
		□□ 舗装の各層の継目の位置が設ま						
		□ □ 継目又は構造物との接触面をよ □ □ アスファルト混合物の運搬及び					1	
		□□□レキ青材散布量が整理、記録さ		. しょう めんに 2017年度100 くけ ど。			1	
		□ □ 舗装廃材が設計図書に基づき通	- ·	る。			1	
		□ □ その他	2					
		・内容					1	
		・理由 「コンクリート舗装工関係】					1	
		【コンクリート舗装工関係】 □ 舗装工の施工にあたって、上層	弱路盤面の浮き石などの右宝坳を除	去していることが確認できる				
		□ □ コンクリート舗装の本施工の前			確認できる。		1	
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー	ト打設後に日常管理試験(表面硬度	、平均テクスチャ深さ、骨材露出度)		が確認できる。	1	
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー			□ th		1	
		□ □ 設計図書に基づきコンクリー □ 設計図書に基づきコンクリー □			規格が催認できる。		1	
		□ □ 設計図書に基つきコンクリー □ □ 設計図書に基づきコンクリー □			帯の規格が確認できる		1	
		□ □ 圧縮及び曲げ強度試験に使用し			>>=1mm rpmper < € '0/0		1	
		□ □ 施工条件や気象条件に適した過	運搬時間、打設時の投入高さ及び締固		「いることが確認できる。			
		□ □ 鋼材及び目地材料の品質が確認	認できる。				1	
		□□その他・内容					1	
		・内容 ・理由					1	
		【レーンマーク関係】					1	
		□ □ 区画線に使用する材料の品質が					1	
		□ □ 設計図書に基づく試験施工を領	実施し、本施工が試験施工を行った	機械、塗料、施工条件(気象条件、走行	行速度、路面状態など)で実施	されていることが確認できる。		
		□□□区画線の幅が試験施工等で設計	十図書の仕様を満足していることが	確認できる。				
		□□□区画線の幅が試験施工等で設置 □□□区画線を消去の場合、表示材			とが確認できる。			
		□ □ プライマーの施工にあたって、			. ===		1	
		□□その他					1	
		・内容・理由						
		- 在四						
		●判断基準						
			F00/ NLT	ばらつきで判断可能	000/ 大切之 7	ばらつきで判断不可能	d 上記に該当	e 上記に該当
		90%以上	50%以下 a	80%以下 a'	80%を超える b	h	+	
		評 80%以上90%未満	a '	b	b '	b'		
		価 70%以上80%未満	b	b'	c	c		
		値 60%以上70%未満	b'	С	С	С		
		60%未満	С	С	С	С		
		評価値の領出	① 当該「評価対象項目」のうち	、当該工事で評価対象となる項目につい	ハて評価の事前に「対象」にチャー	エックする。		
		нт пи пе v Э+ III	② 上記①のチェック後の評価対	象項目数を母数として、評価にチェック	クした比率(%) 計算の値で評価			
)評価数/()対象評価項目数<対				
			(4) なお、上記①のチェック後の	評価対象項目数が2項目以下の場合はの	c評価とする			
		●留意事項						
		※ 試験結果の打点数等が少なくに		「ばらつき判断不可能」として評価対象				
		/ ※ 評価項目は検査時に行われてし	いない項目もあることから、その場	合は、当該工事の監督員等からの聞き	取りにより確認することができ	<u> </u>		

■ 日質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況	実施していることが確認できる。 していることが確認できる。 しており、コンクリートの品質、製造設備の 施しており、コンクリートの品質、製造設備の 施しており、コンクリートの品質、製造設 実施しており、コンクリートの品質、製造設 実施しており、一くのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の規格が確認できる」では込み時間、スランプ、空気量と備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 をとい確認できる。 が確認できる。 が確認できる。 が確認できる。 と、圧接条件等を確認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)	は □ 品質関係の測定方法又は測値が不適切であったため、 「督員が文書で指示を行い改善 された。	監 値が不適切であった			
●評定対象項目 対象評価 □ 設計図書に基づきコンクリートの配合試験及び試験練りを9 □ 設計図書に基づきコンクリートの打設前に基準試験を実施し □ 設計図書に基づきコンクリートの打設時の日常管理試験を実施し □ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を実施し □ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を9 □	実施していることが確認できる。 していることが確認できる。 しており、コンクリートの品質、製造設備の 施しており、コンクリートの品質、製造設備の 施しており、コンクリートの品質、製造設 実施しており、コンクリートの品質、製造設 実施しており、一くのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の規格が確認できる」では込み時間、スランプ、空気量と備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 をとい確認できる。 が確認できる。 が確認できる。 が確認できる。 と、圧接条件等を確認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)	値が不適切であったため、 督員が文書で指示を行い改	監 値が不適切であった			
●評定対象項目 対象評価 □ 設計図書に基づきコンクリートの配合試験及び試験練りを見 □ 設計図書に基づきコンクリートの打設前に基準試験を実施し □ 設計図書に基づきコンクリートの打設時に必ず受注者が □ 設計図書に基づきコンクリートの打込み時に必ず受注者が □ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を到 □ 圧縮及び曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が、到 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及 □ コンクリートの産縮強度を管理し、必要な強度に達した後に □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、この場別図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、会別の調査に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、会別の調査に基づき鉄筋のがカス圧接作業前に、基準試験を実施しており、会別の書に基づき鉄筋のがカス圧接作業前に、基準試験を実施しており、会別の書に基づき鉄筋のがカス圧接作業前に、基準試験を実施しており、会別の機能としているスペーサーを使用し、鉄筋の場対を直接しているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能としているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能を対しているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能を対しているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能を対しているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能の表別の機能としているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能の機能と対しているスペーサーを使用し、鉄筋の回り、会別の機能の機能は、表別の場別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別	実施していることが確認できる。しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、などのできる。とが締固め方法が、定められた条件を満足しておりないできる。と鉄筋かにより鉄筋の規格が確認、曲ば屋外により鉄筋の規格の世が、大は屋外には屋外により、大が確認できる。おり、大様できる。とり、大様である。とが確認ができる。とり、大様では、大きできる。を実施しており、大きできる。を実施しており、大きできる。をは、ないることが確認できる。をは、ないることが確認できる。に実施していることが確認できる。とりをは様を満足していることが確認できる。とり、大きでは様をは、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きないのは、大きで、大きないるにとができる。とり、大きないるに、大きないない。	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)	督員が文書で指示を行い改	監・ を を を を を を を を を			
対象評価	しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、なが確認できる。とび締固め方法が、定められた条件を満足してとが確認できる。、鉄筋かられた条件を行ってい値を必要をしておりができる。、大きの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)		音			
対象評価	しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、なが確認できる。とび締固め方法が、定められた条件を満足してとが確認できる。、鉄筋かられた条件を行ってい値を必要をしておりができる。、大きの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)	CAUCO.				
□ 設計図書に基づきコンクリートの配合試験及び試験練りを担ける。 □ 設計図書に基づきコンクリートの打設前に基準試験を実施しまがきコンクリートの打設の時に必ず受注者が関しまれる。 □ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を実施します。 □ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を担け、連接を関した正確とは、といいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいのでは、といいのでは、といいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいいのでは、といいいいのでは、といいいいのでは、といいいいのでは、といいいいのでは、といいいいのでは、といいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、なが確認できる。とび締固め方法が、定められた条件を満足してとが確認できる。、鉄筋かられた条件を行ってい値を必要をしておりができる。、大きの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)					
□ 設計図書に基づきコンクリートの打設前に基準試験を実施し□ 設計図書に基づきコンクリートの打込み時に必ず受注者が略□ 設計図書に基づきコンクリートの打込み時に必ず受注者が略□ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を写□ 圧縮及び曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が、当 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及□ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、 に 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、 ご 鉄筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足している工場 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足しているよ際・の調対図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のがガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前及び超音を 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前と、基準試験を写 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の中一を使用し、鉄筋の 関子を使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に	しており、コンクリートの品質、製造設備の施しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、運搬、打臨場しており、コンクリートの品質、製造設実施しており、なが確認できる。とび締固め方法が、定められた条件を満足してとが確認できる。、鉄筋かられた条件を行ってい値を必要をしておりができる。、大きの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)					
□ 設計図書に基づきコンクリート打設時の日常管理試験を実施 設計図書に基づきコンクリートの打込み時に必ず受注者が関 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を実施 圧縮及び曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が、当 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及 □ コンクリートの産業生が、設計図書の仕様を満足していること 設計図書に基づきコンクリート構造物の非破壊試験(圧縮、設計図書に基づきまがのの出て、適当な間隔で支持 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を生様を満足していること 鉄筋の組査を要が筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業員及び超音を 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業員及び超音を 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 □ オ害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に □ アレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ アとグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ ロ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	施しており、コンクリートの品質(運搬、打臨場していることが確認できる。実施しており、コンクリートの品質、製造設当該現場の供試体であることが確認できる。なび締固め方法が、定められた条件を満足してとが確認できる。、鉄筋がにより外しを行っていることが確認できる。、鉄が一ト鉄筋の規格が確認、曲ば屋外には屋外により、倉庫内に貯蔵するか、圧接工の技量や及びきる。おり、大倉庫内に貯蔵するか、大倉庫内に貯蔵を満足ができる。施しており、接続できる。施しており、接続できる。施して接続の技術を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を選挙を	丁ち込み時間、スランプ、空気量 投備の規格が確認できる。 ていることが確認できる。 ま足していることが確認できる。 が確認できる。 近く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 に認できる。 は認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)					
□ 設計図書に基づきコンクリートの打込み時に必ず受注者が監□ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を製□ 圧縮及び曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が、製□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及□ コンクリートの所護性が、設計図書の仕様を満足していること□ 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、まが設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、まがいまがの組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のが表圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前と、鉄筋の コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 お計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 フレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様 フレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 ア C グラウトの 基準試験及び日常管理試験を実施しており、 ア C グラウトの施工に設計図書に基づき技術者(P C グラウトの施工に設計図書)を対しませば対しませば対しませば対しませば対しませば対しませば対しませば対しませば	臨場していることが確認できる。 実施しており、コンクリートの品質、製造設当該現場の供試体であることが確認できる。 び締固め方法が、定められた条件を満足してとり、理枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値をあいたまり鉄筋の規格が確認できる。おり、大倉庫内に片蔵するか、足接工の技量や圧接機械の性とが確認できる。施しており、圧接工の技量や圧接機械の性とが確認できる。施しており、継手工とが構るこが確認できる。を実施していることが確認できる。とまたでは、とが確認できる。とまたがなることが確認できる。とまたでは、とが確認できる。とは様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。とは様を満足していることが確認できる。とり、地域とは、地域とは、は、といることが確認できる。とは様を満足していることが確認できる。とり、地域とは、は、といることが確認できる。とり、地域とは、は、といるにといることが確認できる。とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	とが確認できる。 でいることが確認できる。(寒 とが確認できる。 満足していることが確認できる。 が確認できる。 置く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 が認できる。 は認できる。 は認できる。	中及び暑中コンクリート等を含む)					
□ 設計図書に基づきコンクリートの打設期間中に定期試験を製	実施しており、コンクリートの品質、製造設当該現場の供試体であることが確認できる。なび締固め方法が、定められた条件を満足してに型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値をあいたまり鉄筋の規格が確認できる。おり、大倉庫内に貯蔵するか、とは屋外には屋外には上が確認できる。施しており、圧接工の技量や圧接機械の性とが確認ができる。施しており、継手工法や規格である張りを確におり、継手工法や規格できる。を実施していることが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とりを当まないることが確認できる。とりを当まないることが確認できる。とり、地格を満足していることが確認できる。とり、地格を満足していることが確認できる。とり、地格を満足していることが確認できる。とがなるに、カト施工管理者)を選任・配置していることが確認できる。	ていることが確認できる。(寒ことが確認できる。 満足していることが確認できる。 が確認できる。 置く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 は認できる。 は認できる。						
□ 圧縮及び曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が、当 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づき3年の加工開始前に基準試験を実施しており、また ○ 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、また ○ 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、また ○ 鉄筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持 ○ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 ○ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音 ○ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業員及び超音 ○ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 ○ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 ○ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、鉄筋の ○ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 ○ オ害なクラックが無い。 ○ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に ○ アと鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 ○ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 ○ アとグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 ○ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(アとグラウラ・フレテンションアと部材の日常管理試験が実施されており、	当該現場の供試体であることが確認できる。なび締固め方法が、定められた条件を満足してに型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値を満ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。おり、大倉庫内に貯蔵するか、又は屋外には屋外には上が確認できる。施しており、圧接工の技量や圧接機械の性が変にない。上接工の技量や圧接機械のとが確認できる。施していることが確認できる。ができる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。とりをは様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。とり、地格を満足していることが確認できる。とり、地格を満足していることが確認できる。とり、地格では、といることが確認できる。との仕様を同様な表生条件におかれた供きる。との仕様を高足していることが確認できる。	ていることが確認できる。(寒ことが確認できる。 満足していることが確認できる。 が確認できる。 置く場合には適当な覆いを施して と、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 は認できる。 は認できる。						
□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、また。 □ 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、また。 □ 鉄筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持 □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 □ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に □ アと鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ アとグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ	なび締固め方法が、定められた条件を満足してに型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値を満ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、又は屋外に間とが確認できる。施して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とが確認できる。 満足していることが確認できる。 が確認できる。 置く場合には適当な覆いを施して き、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 能認できる。						
□ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づきコンクリート構造物の非破壊試験(圧縮、 □ 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、また。 □ 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、また。 □ 鉄筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持。 □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること。 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施。 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施。 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施。 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、鉄筋の。 □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理。 □ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に。 □ アと鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様。 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の一、プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造。 □ アとグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(アとグラウロー、プレテンションアと部材の日常管理試験が実施されており、□ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(アとグラウロー プレテンションアと部材の日常管理試験が実施されており、□ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(アとグラウロー プレテンションアと部材の日常管理試験が実施されており、□ アンフェールを表述を表述しており、□ アとグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(アとグラウロー アンテンションアと部材の日常管理試験が実施されており、□ アンフェールを表述を表述しており、□ アンフェールを表述を表述しており、□ アンフェールを表述を表述を表述しており、□ アンフェールを表述を表述しており、□ アンフェールを表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を	に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値を満ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。 おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、曲げ戻し) 持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置とが確認できる。 施してまり、圧接工の技量や圧接機械の性能波探傷試験の技術者が有資格者であることが確認できる。 施しており、継手工法や規格(引張)が確認できる。 理されていることが確認できる。 理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 カト施工管理者)を選任・配置していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していることが確認できる。	とが確認できる。 満足していることが確認できる。 が確認できる。 置く場合には適当な覆いを施して き、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 能認できる。						
□ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していること 設計図書に基づきコンクリート構造物の非破壊試験(圧縮、 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、また	とが確認できる。 、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値を満ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。 おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、曲げ戻し) 持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置 とが確認できる。 施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能 波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 はを満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 カト施工管理者)を選任・配置していることが確認 ウト施工管理者)を選任・配置していることが確認できる。	病足していることが確認できる。 が確認できる。 量く場合には適当な覆いを施して き、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 は認できる。 は認できる。	一貯蔵している。					
□ 設計図書に基づき3・2・2・2・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	、鉄筋かぶり)を実施しており、規格値を満ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、曲げ戻し)持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置とが確認できる。施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能波探傷試験の技術者が有資格者であることが確認できる。理されていることが確認できる。は実施していることが確認できる。に実施していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。の出来などできる。ともなどがなどできる。といることが確認できる。のは様を満足していることが確認できる。のは様を満足していることが確認できる。のは様を満足していることが確認できる。	が確認できる。 社く場合には適当な覆いを施して 主、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 は認できる。 は認できる。	一貯蔵している。					
□ 設計図書に基づき鉄筋の日常管理試験を実施しており、ミバー 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、ミバー 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施しており、 選計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施していること 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音が 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 有害なクラックが無い。 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に アC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 アCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 アCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウー プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	ルシートにより鉄筋の規格が確認できる。 おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、曲げ戻し) 持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置 とが確認できる。 施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能 波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 はを満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 かができる。 と関格を満足していることが確認できる。 の世様を満足していることが確認できる。 の世様を満足していることが確認できる。	が確認できる。 社く場合には適当な覆いを施して 主、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 は認できる。 は認できる。	一貯蔵している。					
□ 設計図書に基づき鉄筋の加工開始前に基準試験を実施してまま筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音を 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 有害なクラックが無い。 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に アC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 アCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 アCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	おり、鉄筋の規格(引張、曲げ、曲げ戻し) 持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置 とが確認できる。 施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能 波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 はを満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 カト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認できる。	はく場合には適当な覆いを施して は、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 推認できる。 は認できる。 は認いできる。 は認いできる。	一貯蔵している。					
□ 鉄筋等の鋼材を直接地上に置くことなく、適当な間隔で支持	持して、倉庫内に貯蔵するか、又は屋外に置とが確認できる。施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能波探傷試験の技術者が有資格者であることが実施しており、継手工法や規格(引張)が確のかぶりを確保していることが確認できる。理されていることが確認できる。は実施していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。方物と同様な養生条件におかれた供試体を用、規格を満足していることが確認できる。ウト施工管理者)を選任・配置していること、部材の規格が満足していることが確認できる、	はく場合には適当な覆いを施して は、圧接条件等を確認できる。 が確認できる。 推認できる。 は認できる。 は認いできる。 は認いできる。	一貯蔵している。					
□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していること □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音を 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 □ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に □ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	とが確認できる。 施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能 波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること、 部材の規格が満足していることが確認でき	三、圧接条件等を確認できる。が確認できる。す認できる。目いていることが確認できる。ごが確認できる。	貯蔵している。					
□ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業前に、基準試験を実施 □ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音液 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を実置 □ 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 □ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に □ P C 鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ P C グラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ P C グラウトの施工に設計図書に基づき技術者(P C グラウ ロ プレテンションP C 部材の日常管理試験が実施されており、	施しており、圧接工の技量や圧接機械の性能 波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 の性様を満足していることが確認できる。 かれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認できる。	が確認できる。 言認できる。 引いていることが確認できる。 こが確認できる。						
□ 設計図書に基づき鉄筋のガス圧接作業時の作業員及び超音波 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を 9 □ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を 9 □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理 □ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に □ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	波探傷試験の技術者が有資格者であることが 実施しており、継手工法や規格(引張)が確 のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 候を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。 言認できる。 引いていることが確認できる。 こが確認できる。						
□ 設計図書に基づき鉄筋の機械継手の作業前に、基準試験を9□ 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の□ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理□ 有害なクラックが無い。□ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に□ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造□ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウロ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	実施しており、継手工法や規格(引張)が確のかぶりを確保していることが確認できる。理されていることが確認できる。に実施していることが確認できる。 に実施していることが確認できる。の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用、規格を満足していることが確認できる。ウト施工管理者)を選任・配置していること、部材の規格が満足していることが確認できる、	推認できる。 引いていることが確認できる。 : が確認できる。						
□ 設計図書の仕様を満足しているスペーサーを使用し、鉄筋の□ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理□ 有害なクラックが無い。□ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に□ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造□ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウロ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	のかぶりを確保していることが確認できる。 理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	引いていることが確認できる。						
□ □ コンクリートの打継目の処理が設計図書に基づき適正に処理□ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に□ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造□ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウロ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	理されていることが確認できる。 に実施していることが確認できる。 様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ 有害なクラックが無い。 □ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前は □ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ	に実施していることが確認できる。 様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ 緊張に使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前は □ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕機 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様 □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウロ ロープレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	様を満足していることが確認できる。 の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の□ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造□ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、□ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ□ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	の仕様を満足していることが確認できる。 造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ □ プレストレス導入時のコンクリート圧縮強度の確認は、構造 □ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウ □ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	造物と同様な養生条件におかれた供試体を用 、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ PCグラウトの基準試験及び日常管理試験を実施しており、 □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者(PCグラウロ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	、規格を満足していることが確認できる。 ウト施工管理者) を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき	が確認できる。						
□ □ PCグラウトの施工に設計図書に基づき技術者 (PCグラウロ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	ウト施工管理者)を選任・配置していること 、部材の規格が満足していることが確認でき							
□ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、	、部材の規格が満足していることが確認でき							
		る。						
□ 使用するPC鋼材が設計図書の仕様を満足する規格証明書が	□ □ プレテンションPC部材の日常管理試験が実施されており、部材の規格が満足していることが確認できる。							
□ □ PC鋼材を直接地上に置くことなく、倉庫内に貯蔵するか、		て貯蔵している。						
□ □ プレグラウトPC鋼材に塗布される樹脂の規格が設計図書 <i>0</i>								
□ □ プレグラウトPC鋼材の被覆に使用する材料の規格が設計図	7,512 - 11 71 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1							
□ □ その他		,						
・内容								
• 理由								
- 24円								
【 支承及び付属物工】 □ □ 支承に使用する材料の品質、形状が設計図書を満足している	□ □ 支承に使用する材料の品質、形状が設計図書を満足していることが確認できる。							
□ □ 伸縮装置に使用する材料の品質、形状が設計図書を満足して								
□ □ 伸縮装置の遊間量が適正に管理されている。								
□□その他								
・内容								
・理由								
●判断基準	ばらつきで判断可能			d 上記に該当	e 上記に該当			
50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	u 上此《二秋日	セ 上記に該ヨ			
90%以上 a	a '	b	b					
100	b	h,'	b'					
価 70%以上80%未満 b	b'	C	c					
値 60%以上70%未満 b'								
	C	С	С	_				
	c	С	С					
	のうち、当該工事で評価対象となる項目につ 評価対象項目数を母数として、評価にチェッ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
	評価対象項目数を母数として、評価にアエツ ()評価数/()対象評価項目数<タ		三					
(4) なお、上記①のナェック	ク後の評価対象項目数が2項目以下の場合は	k C 評価とする						
●留意事項								

考査項目	細別	【土木工事のうち鋼橋上部工工事】						
3 出来形及び出来	Ⅱ品質	а	a'	b	b'	С	d	е
ばえ			きと評価対象項目の履行状況(評価値 型要領、その他設計図書に定められた記				□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、関 督員が文書で指示を行い改き	値が不適切であったため、検
		●評定対象項目					された。	
		対象 評価						
		【工場製作関係】 □ 鋼材の種別を、品質を証明す □ 設計図書に基づき溶接作業前 □ 溶接作業後に品質検査を実施 □ 溶接施工に係る施工計画書を □ 設計図書に基づき塗装作業の □ 強装作業にあたり、塗布面を □ 素地調整のブラスト処置後、	に、施工試験を実施しており、溶接条だしていることが確認できる。 是出していることが確認できる。 時に塗装管理者が臨場していることが 十分に乾燥させて施工していることが	件や補助材を決定していることが確 確認できる。 確認できる。		間以内であることが確認できる。		
		□ □ 塗装作業の禁止条件に抵触し □ □ 工場製作が完了した後に、仮 □ □ 塗膜厚の検査を設計図書に基 □ □ 設計図書に基づき塗装記録を □ □ その他 ・内容 ・理由	組立検査又は部材検査(シミュレーシ づき実施していることが確認できる。	ョンは除く)を実施しており、組立	精度や品質等の性能を確認する	ことができる。		
		【架設関係】 □ ボルトの締付確認が実施され □ ボルトの締付機及び測定機器 □ 高力ボルトの締の付けを、 □ 高力ボルトの締め付けを、 □ 現場溶接の施工及び品質管理 □ 設計図書に基づき現場溶接接 □ 現場塗装において、塗装作業 □ 現場塗装において、塗装作業 □ 内容 ・理由	のキャリブレーションを実施している 関で確認できる。 心から外側に向かって、かつ2回に分 が適正であることが確認できる。 破壊検査(探傷装置の操作、傷の判定 に架設完了検査を実施しており、設計 管理を適切に行っていることが確認で	ことが確認できる。 けて行っていることが確認できる。) に従事する検査技術者が有資格者 上の精度や品質が確認できる。 きる。	であることが確認できる。			
		【コンクリート】 □ (コンクリート構造物工事に	進ずる。)					
		□ □ 伸縮装置の遊間量が適正に管 □ □ その他 ・内容 ・理由	質、形状が設計図書を満足しているこ					
		●判断基準					- 1	•
			500/DI=	ばらつきで判断可能	000/ 3-477.5 37	ばらつきで判断不可能	d 上記に該当	e 上記に該当
		100% D1 F	50%以下	80%以下	80%を超える		_	
		90%以上 	a a '	a´ b	b '	b 'b'		
		価 70%以上80%未満	b	b '	C	c		
		值 60%以上70%未満	b '	С	c	c		
		60%未満	c	c	c	c		
		評価値の算出 ●留意事項	① 当該「評価対象項目」のうち、② 上記①のチェック後の評価対象③ 評価値 (%) = () 。④ なお、上記①のチェック後の評価	項目数を母数として、評価にチェッ 評価数/()対象評価項目数<タ	クした比率(%) 計算の値で評値 け象チェック総数>			
		※ 試験結果の打点数等が少なく	ずらつきの判断が出来ない場合は、「 いない項目もあることから、その場合					

考査項目	細別	【土木工事のうち塗装工事(塗替塗装)]											
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	а	a'	b	b'	С	d	е						
ばえ				西値)から判断する。<判断基準参照	Š	•	□ 品質関係の測定方法又は測定	□ 品質関係の測定方法又は測定						
		関連基準、構造物施工管理要	領、その他設計図書に定められた	試験」			値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。						
								重員が修備指示を行うた。						
		●評定対象項目 対象 評価					_							
		刈	ことり上八に連提が行われている。	- レが歴知できて										
		□ □ ブラスト作業の前に小洗い等(□ □ ブラスト作業にあたり素地調響												
		□ □ ブラスト □												
		□ □												
		□ □ 希釈剤を使用している場合、												
		□ □ 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、												
		□	の天候、気温及び湿度等の条件が作	F業管理として記録されていることが	確認できる。									
		□ □ 塗り残し、ながれ、しわ等が	無く塗装されていることが確認でき	きる。										
		□ □ 塗装間隔が各塗替え塗装系で対	見定する範囲内であることが確認て	ごきる。										
		□ □ 溶接部、ボルトの接合部分、柞	構造の複雑な部分について、必要な	は塗膜厚を確保していることが確認で	きる。									
			及び抜取検査証明書により設計図書	書の仕様を満足していることが確認で	きる。									
		□□その他												
		・内容												
		・理由												
		●刊 阿 基 年		d 上記に該当	e 上記に該当									
			50%以下	ばらつきで判断可能 80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能								
		90%以上	a	a '	b	b								
		評 80%以上90%未満	a '	b	b '	b '								
		価 70%以上80%未満	b	b '	С	С								
		値 60%以上70%未満	b '	С	С	С								
		60%未満	С	С	С	С								
		評価値の算出		っ、当該工事で評価対象となる項目に 1.4.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.										
				け象項目数を母数として、評価にチェ		曲する。								
			0) 評価数/() 対象評価項目数										
			4 なお、上記①のチェック後の)評価対象項目数が2項目以下の場合	はて評価とする									
		■ 留意事項												
		※ 試験結果の打点数等が少なく!	⁻ გ.											
				場合は、当該工事の監督員等からの聞										
	•													

考査項目	細別	【土木工事のうち造園工事】						
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	a	a'	b	b'	С	d	e
ばえ			らつきと評価対象項目の履行状況(評価値 L管理基準、その他設計図書に定められた。		>		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
		[上日 庄宏平、てい他以前 囚音に足のり40/こ	八初火」			督員が文書で指示を行い改善	直が下過労であらたため、模 査員が修補指示を行った。
		●評定対象項目					された。	
		対象 評価					_	
			(購入材、土壌改良材)の材料の現場搬入に	先立って分析証明書を提出してお)、材料の品質が確認できる。			
			現場搬入に先立って品質証明書を提出して					
			けまでの養生が適切に行われていることが	確認できる。				
			害虫等がいないことが確認できる。	1 10-1				
			「定、整形その他必要な手入れを行っている。 Pれないよう均一に施肥していることが確認					
		□□□ 支柱をぐらつきがないよ						
			い場所に設置していることが確認できる。					
			ング用資材の現場搬入に先立って分析証明					
		•	チング)の施工に先立って、地表面を平滑	に整地し、シート等が地表面と密見	昏していることが確認できる。			
		□ □ その他 ・内容						
		・ ・ 理由						
		●判断基準						
				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	d 上記に該当	e 上記に該当
			50%以下	80%以下	80%を超える	はりつきで刊劇小可能		
		90%以上	a	a '	b	b		
		評 80%以上90%未満	a ´	b ,	b ´	b ´	_	
		価 70%以上80%未満 値 60%以上70%未満	b 'b '	b' c	c c	c c	_	
		60%未満	С	c	c	c	_	
		評価値の)算出 ① 当該「評価対象項目」のうち、	当該工事で評価対象となる項目につ	oいて評価の事前に「対象」にチ	エックする。		
			② 上記①のチェック後の評価対象			価する。		
			③ 評価値(%)= ()					
			④ なお、上記①のチェック後の評	他対象項目数か2項目以下の場合に	IC評価とする			
		●留意事項						
			なくばらつきの判断が出来ない場合は、「	ばらつき判断不可能」として評価が	対象項目(評価値)だけで評価す	-る。		
		※ 評価項目は検査時に行わ	れていない項目もあることから、その場合	は 当該工事の監督員等からの間:	4ml1~kl確認する~レができ	た る。		
			11 11 01 XH 000 0 = 210 01 01 XH	160、日欧二子の血自兵(18 50日)	これ かになる 推動する ここか くこ	. • •		
考査項目 2 出来形が出来	細別	【土木工事のうち防護さく工事】						
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a	a '	b	b'	С	d 日 品質関係の測定方法又け測定	● □ 品質関係の測定方法▽け測定
	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば		b :) から判断する。<判断基準参照:	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値	b :) から判断する。<判断基準参照:	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値	b :) から判断する。<判断基準参照:	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値 工管理基準、その他設計図書に定められた』	b :) から判断する。<判断基準参照:	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ □ 鋼材の品質及び規格が確	a' ざらつきと評価対象項目の履行状況(評価値 工管理基準、その他設計図書に定められた。 認することができる。	b :) から判断する。<判断基準参照:	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ □ 鋼材の品質及び規格が確 □ □ 使用する鋼材の防錆処理	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた』 『認することができる。	b ()から判断する。<判断基準参照 / 式験]	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 切製支柱地際部の防錆強理	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた』 『認することができる。』 『が適切に行われていることが確認できる。	b ご)から判断する。<判断基準参照: 式験]	b'		□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた』 「認することができる。 」が適切に行われていることが確認できる。 ②化が適切に行われていることが確認できる。 「いないこと、または損傷を与えた場合に適	b から判断する。 < 判断基準参照 :	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた』 『認することができる。』 『が適切に行われていることが確認できる。	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」が適切に行われていることが確認できる。 ②化が適切に行われていることが確認できる。 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適け、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」が適切に行われていることが確認できる。 ②化が適切に行われていることが確認できる。 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適け、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 面鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」が適切に行われていることが確認できる。 ②化が適切に行われていることが確認できる。 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適け、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 面鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」が適切に行われていることが確認できる。 ②化が適切に行われていることが確認できる。 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適け、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」とが適切に行われていることが確認できる。 いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適い、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	c i i i i i i i i	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 面鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由	a' 『らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた』 『認することができる。』が適切に行われていることが確認できる。』化が適切に行われていることが確認できる。 『いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。	b から判断する。 < 判断基準参照	b' > #認できる。 書の仕様を満足していることが確 う。	С	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 面鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。 」とが適切に行われていることが確認できる。 いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適い、	b から判断する。 < 判断基準参照	b' >	c i i i i i i i i	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側 網材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎工やガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。」 「が適切に行われていることが確認できる。」 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。」 「ドケーブルの端末支柱を土中に設置する無取付ける場合、設計図書に定められた所定	b から判断する。 < 判断基準参照	b' > 権認できる。 書の仕様を満足していることが確 る。 80%を超える	c 注認できる。 ばらつきで判断不可能	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆強理 □ 町鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準 ■90%以上 80%以上90%未満 70%以上80%未満	a' 「ちつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた。」 「認することができる。」 「が適切に行われていることが確認できる。」 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。」 「下ケーブルの端末支柱を土中に設置する無い取付ける場合、設計図書に定められた所定	b から判断する。 < 判断基準参照 :	b' > 権認できる。 書の仕様を満足していることが確 る。 80%を超える b	c 能認できる。 ばらつきで判断不可能 b	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆処理 □ 面鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準 ■ 90%以上 評価値 60%以上70%未満 60%以上70%未満 60%以上70%未満	a' 「らつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた」 「認することができる。」とが適切に行われていることが確認できる。 ないが適切に行われていることが確認できる。 ないないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。 「ドケーブルの端末支柱を土中に設置する無取付ける場合、設計図書に定められた所定	b から判断する。 < 判断基準参照 :	b' > #認できる。 書の仕様を満足していることが確 る。 80%を超える b	c i認できる。 ばらつきで判断不可能 b b'	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆強理 □ 町鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に □ その他 ・内容 ・理由 ●判断基準 ■90%以上 80%以上90%未満 70%以上80%未満	a' 「ちつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた。」 「認することができる。」 「が適切に行われていることが確認できる。」 「いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。」 「下ケーブルの端末支柱を土中に設置する無い取付ける場合、設計図書に定められた所定	b (1) から判断する。 < 判断基準参照 (1) から判断する。 < 判断基準参照 (1) が設計であることが経済及び鉄筋コンクリートが設計では、	b' を を きの仕様を満足していることが確 る。 80%を超える b b' c	c i認できる。 ばらつきで判断不可能 b b' c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆処理 □ 両鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に - その他 - 内容 - 理由 ●判断基準 90%以上 170%以上 180%以上90%未満 70%以上80%未満 60%以上70%未満 60%未満 60%未満	a' 「ちつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた言語である。」が適切に行われていることが確認できる。会化が適切に行われていることが確認できる。いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を持ち、ことができる。	b から判断する。 < 判断基準参照 :	b' を翻できる。 書の仕様を満足していることが確 る。 80%を超える b b' c c	はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆処理 □ 両鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に - その他 - 内容 - 理由 ●判断基準 90%以上 170%以上 180%以上90%未満 70%以上80%未満 60%以上70%未満 60%未満 60%未満	a' 「ちつきと評価対象項目の履行状況 (評価値工管理基準、その他設計図書に定められた言語である。」が適切に行われていることが確認できる。会化が適切に行われていることが確認できる。いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いを対している場合、設計図書に定められた所定の場合である。 「おります」である。 「おります」では、「おります」である。 「おります」である。 「おります」では、「おります」である。 「おります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まりますます」では、「まりますます。」では、「まりますます。」では、「まりますますます。「まりますますます。」では、「まりますますますます。「まりますますますます。「まりますますますますますますますますますます。「まりますますますますます。「まりますますますますますますますますますますますますますますますますまますますますま	b (1) から判断する。 < 判断基準参照 (1) 大 (2) 大 (3) 大 (3) 大 (4) 大 (4) 大 (4) 大 (4) 大 (5) 大 (5) 大 (6) 大 (6) 大 (6) 大 (7)	b' > を認できる。 書の仕様を満足していることが確 5。 80%を超える b b' c c c c c	c ばらつきで判断不可能 b b' c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆処理 □ 両鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に - その他 - 内容 - 理由 ●判断基準 90%以上 170%以上 180%以上90%未満 70%以上80%未満 60%以上70%未満 60%未満 60%未満	a' 「ちつきと評価対象項目の履行状況(評価値工管理基準、その他設計図書に定められた言語である。」が適切に行われていることが確認できる。会化が適切に行われていることが確認できる。いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いないこと、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を与えた場合に適いない。と、または損傷を持ち、ことができる。	b (**) から判断する。 <判断基準参照 (**) がら判断する。 <判断基準参照 (**) がいいでは、	b' を認できる。 小の仕様を満足していることが確 のは様を満足していることが確 のはずを満足していることが確 のはなる のはないない。	c ばらつきで判断不可能 b b' c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 鋼材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆処理 □ 両鉛めっきに損傷させて □ 防護柵等の基礎エやガー □ ガードケーブルを支柱に - その他 - 内容 - 理由 ●判断基準 90%以上 170%以上 180%以上90%未満 70%以上80%未満 60%以上70%未満 60%未満 60%未満	a'	b (1) から判断する。 <判断基準参照 (1) がら判断する。 <判断基準参照 (1) がら判断する。 <判断基準参照 (1) が設計図 (1) が設 (1) が設計図 (1) が (2) が (2) が (3) が (4) が (4) が (5) が (5) が (5) が (6) が (6) が (7) が (b' を認できる。 小の仕様を満足していることが確 の仕様を満足していることが確 のはずを満足していることが確 のはずを満足していることが確 のはずるできる。 のはずるでは、 のないで評価の事前に「対象」にチャクした比率(%) 計算の値で評した対象チェック総数〉	c ばらつきで判断不可能 b b' c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側側材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 調製支柱地際部の防錆強 □ 亜鉛めっきに損傷させて □ がードケーブルを支柱に □ カードケーブルを支柱に ・内容 ・理由 ●判断基準 90%以上 評価値	a'	b (1) から判断する。 <判断基準参照 (1) がら判断する。 <判断基準参照 (1) がら判断する。 <判断基準参照 (1) が設計図 (1) が設 (1) が設計図 (1) が (2) が (2) が (3) が (4) が (4) が (5) が (5) が (5) が (6) が (6) が (7) が (b' を認できる。 小の仕様を満足していることが確 の仕様を満足していることが確 のはずを満足していることが確 のはずを満足していることが確 のはずるできる。 のはずるでは、 のないで評価の事前に「対象」にチャクした比率(%) 計算の値で評した対象チェック総数〉	c ばらつきで判断不可能 b b' c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防護さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側側する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防錆処理 □ 町鉛めっきに損傷させて □ がードケーブルを支柱に □ ガードケーブルを支柱に - たの他 ・内容 ・理由 ●判断基準 ■ 90%以上 部 80%以上90%未満	a'	b (1) から判断する。 < 判断基準参照 (1) 大家判断する。 < 判断基準参照 (1) 大家 (1) 大	b' を認できる。 書の仕様を満足していることが確 る。 80%を超える b b' c c c c c c c c c c c c c	c ばらつきで判断不可能 b b' c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。
3 出来形及び出来	1	【土木工事のうち防酸さく工事】 a □ 品質関係の試験結果のば [関連基準、土木工事施□ ●評定対象項目 対象 評価 □ 側側材の品質及び規格が確 □ 使用する鋼材の防錆処理 □ 側製支柱地際部の防・型性のでは、である。・理由 ●判断基準 ■ 90%以上 ■ 90%以上 ※ 10%以上90%未満	a'	b (2) から判断する。 < 判断基準参照 (3) から判断する。 < 判断基準参照 (3) がら判断する。 < 判断基準参照 (3) が認定 (4) が認定 (4) が認定 (5) が認定 (5) が認定 (5) が認定 (5) が認定 (6) が認定 (6) が、 (7) が認定 (6) が、 (7) が認定 (6) が、 (7) が認定 (7) が認定 (7) がままれば、 (7) がままれば、 (8) が、	b' a	はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 ないでは、はいできる。 ないでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいでは、はいでは、	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 督員が文書で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検 査員が修補指示を行った。

考査項目	細別	【土木工事のうち標識工事】						
3 出来形及び出来	Ⅱ品質	а	a'	b	b'	С	d	е
ばえ		□ 品質関係の試験結果のばらつ	きと評価対象項目の履行状況(評価値	直)から判断する。<判断基準参照>			□ 品質関係の測定方法又は測定	□ 品質関係の測定方法又は測定
		●評定対象項目					値が不適切であったため、監	値が不適切であったため、検
		対象 評価					督員が文書で指示を行い改善	査員が修補指示を行った。
		□ □ 基礎ぐいに使用する材料の規	格が設計図書の仕様を満足しているこ	ことが確認できる。			された。	
		□ 基礎に使用するコンクリート	及び鉄筋の規格が設計図書の仕様を滞					
		□ □ 標識柱に使用する材料の規格						
		□ □ 反射式標識板に使用する材料						
		□ □ 内部照明標識板に使用する材料	料の規格が設計図書の仕様を満足して	ていることが確認できる。				
		□ □ 板・シートの加工は、設計図						
		□ □ 基礎設置箇所について地盤の:	地耐力を把握して、施工していること	とが確認できる。				
		□□その他						
		・内容						
		・理由						
							d 上記に該当	e 上記に該当
			50%以下	80%以下	80%を超える	一 ばらつきで判断不可能	4 工品(C)数当	6 工品(C)以当
		90%以上	a	a '	b	b	_	
			a'	b	b'	b'	-	
		価 70%以上80%未満	b	b '	c	c	_	
		値 60%以上70%未満	b '	С	C	c		
		60%未満	С	С	С	С		
							-	
		評価値の算出	① 当該「評価対象項目」のうち、	当該工事で評価対象となる項目につい	いて評価の事前に「対象」にチ:	ェックする。		
				象項目数を母数として、評価にチェック		する。		
				評価数/()対象評価項目数〈対				
			④ なお、上記①のチェック後の評	平価対象項目数が2項目以下の場合はc	評価とする			
		●留意事項	ポンっナのWING 1811 セセル IR A I			7		
				「ばらつき判断不可能」として評価対象 合は、当該工事の監督員等からの聞き取				
考査項目	細別	【土木工事のうち速音壁工事】	いない項目もあることがら、その場合	司は、ヨ政工事の血目負すがりの間と非	なりにより確認することが、こと	0 0		
3 出来形及び出来		a	a'	b	b'	С	d	e
ばえ	_ ##>	□ 品質関係の試験結果のばらつ	きと評価対象項目の履行状況(評価値	直)から判断する。<判断基準参照>	-	-	□ 品質関係の測定方法又は測定	□ 品質関係の測定方法又は測定
			基準、その他設計図書に定められた				値が不適切であったため、監	値が不適切であったため、検
							督員が文書で指示を行い改善	査員が修補指示を行った。
		●評定対象項目					された。	
		対象 評価		_				
		□□使用材料の規格が設計図書の		_				
		□□基礎ぐいに使用する材料の規						
		□□基礎に使用するコンクリート						
		□□□遮音板を工事現場等に一時仮□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			ワベキス			
		□□□使用する支柱や金属製遮音壁□□□遮音板が隙間を生じないよう		情処理が適切に行われていることが確認 	3 C 3 0.			
		□ □ 遮貞板が原間を生じないよう □ □ 誘光性遮音板の設置にあたっ						
		□ □ 鋼管ぐいの貫入不能時の処理						
		□□□その他	サルー 週 9 / C 1 1 4 / 4 / C (・ の C C // 心 正 n					
		・内容						
		・理由						
		●判断基準					•	
				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	d 上記に該当	e 上記に該当
			50%以下	80%以下	80%を超える	はりつきて刊例行い配		
		90%以上	a	a '	b	b		
		評 80%以上90%未満	a '	b	b '	b '		
		価 70%以上80%未満 値 60%以上70%未満	b	b '	c	c	_	
		60%以上70%未満 60%未満	b '	С	С	С	_	
		00 70 木(両	С	c	С	С		
			① 当該「証価対象項目」のふた	当該工事で評価対象となる項目につい	ママ 無の事前に「対免」に手。	- ックオス		
		計画順の発口		までは、 要項目数を母数として、評価にチェック				
				*項目数をは数として、計画にチェック 評価数/()対象評価項目数<対:		. / · v ₀		
				平価対象項目数が2項目以下の場合はな				
		●留意事項						
		※ 試験結果の打点数等が少なく	ばらつきの判断が出来ない場合は、	「ばらつき判断不可能」として評価対象	は項目(評価値)だけで評価する	3 .		
		※ 評価項目は検査時に行われて	いない項目もあることから、その場合	合は、当該工事の監督員等からの聞き取	双りにより確認することができ.	ర .		

考査項目	細別	【土木工事のうち道路補修工事(コンクリート構造物)】							
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	a	a'	b	b'	С	d	е	
ばえ		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		●評定対象項目						T	
		対象 評価	The State of the	66-manman - 1	11/1.46====================================	Walter and a	評価	評価	
		□□□設計図書に基づき使用する材			は性能証明書を提出されていること	こか催認できる。	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検	
		□ □ 構造物の劣化状況をよく把抗 □ □ 監督員の指示事項又は設計		. ,	テるわじ種類的に取り知りでいるこ	しが確認できる	督員が文書で指示を行い改善		
		□□□施工計画書の内容及び現場の					された。		
		□ □ 理由(不干、旭工为 IA、旭工 目					
		□□理由()				
		□□理由()				
		□□理由()				
		●判断基準						T	
		a 該当項目が 6 項目以上	a 該当項目が 5 項目	b 該当項目が4項目	b 該当項目が3項目	c 該当項目が2項目以下	d 上記に該当	e 上記に該当	
		●即产市伍							
		●留意事項 ※ 記載の4項目を必須の評価が	対象項目とし、この他に適宜項目を追	加して評価するものとする たれ	だし 評価対象項目は最大8項目と	・する			
			ていない項目もあることから、その場						
考査項目	細別	【施設工事のうち建築工事】							
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	а	a'	b	b'	С	d	е	
ばえ		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		●評定対象項目						I	
		対象 評価					評価	評価	
		【建築工事】 □ □ 材料・製品の品質が、製作®	図竿により確認でき 設計図書を満足	していることが確認できる			□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、検	
		□ □ 施工の各段階における完了					督員が文書で指示を行い改善		
		□ □ 材料の品質確認記録の内容が		ることが特別的できる。			された。		
		□ □ 品質の確認結果が、分りやつ		0					
		□ □ 施工の品質が適切であり、記							
		□ 建具、ユニット等の性能及び			していることが確認できる。				
		□ □ 躯体工事における施工の品質							
		□□内外仕上げ工事における施□							
		□□その他の工事(躯体・内外位			艮好であることが確認できる。				
		□ □ 不可視部分となる品質が、□ □ 中間検査や既済検査での工具							
		□□□その他	たで良好な旭上の品員が、秘密して唯	節 (3 る)					
		• 内容							
		• 理由							
		【設備工事】							
		□ □ 機材の品質が、承諾図等に。	より確認でき、設計図書を満足してい	ることが確認できる。					
		□	寺の試験及び記録の方法が、適切であ	ることが確認できる。					
		□ 機材の品質確認記録の内容が							
		□ □ 品質の確認結果が、分りやす							
		□□応工の品質が適切であり、記							
		□□施工の品質が、試験や検査等			コープトファールジが無いでもフ				
		□ □ システムの性能及び機能に同□ □ システムの性能及び機能に同□ □ システムの性能及び機能に同じ			足していることか確認できる。				
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□							
		□□□中間検査や既済検査での工具							
		□□□運転・点検上の表示及び危险		·					
		□ □ その他	Kappacasan da sha che che	• 0					
		・内容							
		・理由							
		●判断基準							
		a 評価値が90%以上	a 評価値が80%以上	b 評価値が70%以上	b 評価値が60%以上	c 評価値が60%未満	d 上記に該当	e 上記に該当	
		Top by to the		V3+					
		評価値の算	出 ① 当該「評価対象項目」のうち						
			(2) 上記(1)のチェック後の評価対 (3) 評価値(%) = (チェックした比率(%) 計算の値で詞数/対象チェック総数/	評価する。			
			③ 評価値 (%) = (。 ④ なお、上記①のチェック後の						
		●留意事項	○ 'あ♥'、上□(少')/ 上 / / 仅 V /	HT 11M/12 20 20 11 20 11 20 11 20 1 20 1 20 1	<u> </u>				
			ていたい頂日もあることから その場	会け 当該工事の監督昌笙から(の閉き取りにより確認することがで	ききる			

考査項目	細別	【施設工事のうち建築工事以外の工事】									
3 出来形及び出来	Ⅱ 品質	а	a'	b	b'	С	d	е			
ばえ		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である			
		●評定対象項目			•	<u> </u>	<u> </u>				
		対象 評価				評価	評価				
		□ □ 設計図書に定められている品質	□ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。					□ 品質関係の測定方法又は測定			
		□ □ 材料及び構成部品の品質及び肝	□ 品質関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監値が不適切であったため、検								
		□ □ 材料の品質照合の結果が、品質	督員が文書で指示を行い改善	査員が修補指示を行った。							
		□ □ 設備、機器の品質、機能及び1	された。								
		□ □ 設備全体としての運転性能が原	所定の能力を満足していることが確認								
		□ □ 完成図書において、設備の機能									
		□ □ 完成図書において、単体品の									
		□ □ 設備全体及び各機器において、	設計図書に規定した品質及び性能	を工場試験記録により確認できる。							
		□ □ 設備全体についての取扱説明書	書を工夫していることが確認できる。								
		□ □ 完成図書で定期的な点検や交換									
		□ □ 設備の構造において、点検や?	肖耗品の取替え作業が容易にできる。	よう工夫していることが確認できる	00						
		□ □ 不可視部分の写真記録が適切~	である。								
		□ □ その他									
		• 内容									
		・理由									
		●判断基準					1				
		a 評価値が90%以上	a 評価値が80%以上	b 評価値が70%以上	b 評価値が60%以上	c 評価値が60%未満	d 上記に該当	e 上記に該当			
							•				
		評価値の算出	① 当該「評価対象項目」のうち、	、当該工事で評価対象となる項目に	ついて評価の事前に「対象」に	チェックする。					
			② 上記①のチェック後の評価対象								
			④ なお、上記①のチェック後の記								
		●留意事項									
		※ 評価項目は検査時に行われてし	いない項目もあることから、その場合	合は、当該工事の監督員等からの閏]き取りにより確認することがで	きる。					

考査項目	細別	【土木工事のうちコンクリート構造物(基礎工を含む)工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	a	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目						
		評価						
		□ コンクリート構造物の表面状態が良い。						
		□ コンクリート構造物の通りが良い。						
		□ 天端、端部及び打ち継ぎ目の仕上げが良い。						
		□ クラックが無い。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下			
		●留意事項						
		※ 地盤改良のみはc評価とする						
考査項目	細別	【土木工事のうち盛土工事】						
3 出来形及び出来ば	ばⅢ 出来ばえ	а	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目						
		評価						
		□ 仕上げが良い。						
		□ 通りが良い。						
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。						
		□ 構造物へのすりつけなどが良い。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下			
					•			
考査項目	細別	【土木工事のうち切土工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	a	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目						
		評価						
		□ 規定された勾配が確保されている。						
		□ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。						
		□ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。						
		□ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。						
		□ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当 5 項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下			
		71177			N -			

(桳杏昌)

					(戊丑矣)
考査項目	細別	【土木工事のうちのり面工事】			
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			
		評価			
		□ 植生、吹付等の状態が均一である。			
		□端部処理が良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			· ·
		●判断基準			
			o 該当2項目	c 該当1項目	d 該当なし
		a 該ヨ3頃日以上 D) 該ヨ2頃日	C 該ヨ1項目	a 該当なし
	細別	【土木工事のうちトンネル工事】			
3 出来形及び出来ば		T	b		d
3 田木形及び田木は え	単 出来はん	a 優れている	 やや優れている	c 他の評価に該当しない	 劣っている
λ			つつ慢れている	他の評価に該当しない	为りている
		●評価対象項目			
		評価			· ·
		□ コンクリート構造物の表面状態が良い。			
		□ コンクリート構造物の通りが良い。			
		□ 天端、端部及び打ち継ぎ目の仕上げが良い。			
		□ クラックが無い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		□漏水が無い。			
		●判断基準			
		a 該当5項目以上 b	該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下
		-			
考査項目	細別	【土木工事のうちコンクリート鋼橋上部工工事】			
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	a	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			
		評価			
		□ 表面に補修箇所が無い。(国準拠)			
		□ 部材表面に傷、錆がない。 (国準拠)			
		□ 溶接に均一性がある。(国準拠)			· ·
		□ 塗装に均一性がある。(国準拠)			
		□ 床版面の平坦性が良い。(独自)			
		□ 全体的な美観が良い。 (国準拠)			· ·
		ロ 土件のよ天観が良い。(国年拠)			
		●和帐其港			
		●判断基準	→ 数业 4 15 日	**************************************	1 数少り項目以下
		a 該当5項目以上 b	該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下
		1			·

考査項目	細別	【土木工事のうち舗装工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	a	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目						
		評価						
		【共通】						
		□ 舗装の平坦性が良い。						
		□ 構造物の通りが良い。						
		□端部処理が良い。						
		□ 構造物へのすりつけ等が良い。						
		□ 雨水処理が良い。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		【アスファルト舗装】						
		□ ローラーマークがなく平坦性が良い。						
		□ 高機能舗装の空隙がつぶれてなく均一な路	各面になっている。					
		【コンクリート舗装】						
		□ 天端、端部及び打ち継ぎ目の仕上げが良い	\ 0					
		□ コンクリート構造物がレキ青材等によって	て汚れていない。					
		【レーンマーク】						
		□ 塗料の塗布が均一である。						
		□ 視認性が良い。						
		□ 接着状態が良い。						
		□ 施工前の清掃が入念に実施されている。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当7項目以上	b 該当5項目	c 該当4項目	d 該当3項目以下			
		a 阪ヨイ境日以上	0 吸到 3 項目	0 成当年項目	u 成当5項目以下			
考査項目	細別	【土木工事のうちPC橋上部工工事】						
3 出来形及び出来ば		Lエ外工事のプラドロ個工即工工事』	b	c	d			
え	血 山木はん	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目	T T IZ TO CO TO		7,500			
		評価						
		□ コンクリート構造物の表面状態が良い。						
		□ コンクリート構造物の通りが良い。						
		□ 天端及び端部の仕上げが良い。						
		□ 支承部の仕上げが良い。						
		□ クラックがない □ カラックがない						
		□ 床版面の平坦性が良い。						
		□ PC鋼材緊張後の後処理が良い。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準	1					
		a 該当7項目以上	b 該当5項目	c 該当4項目	d 該当3項目以下			

(給杏昌)

考査項目	細別	【土木工事のうち塗装工事(塗替塗装)】			(快車貝/
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目		<u> </u>	
		評価			
		□ 塗装の均一性が良い。			
		□ 細部まできめ細かな施工がされている	3		
		□ 補修箇所がない。	ν _ο		
		□ ケレンの施工状況が良好である。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下
		T NAVE		o Mary	a Mar Anort
考査項目	細別	【土木工事のうち造園工事】			
3 出来形及び出来ば		а	b	c	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			
		評価			
		□ 樹木の活着状況が良い。			
		□ 支柱の取り付けがきめ細かく施工され	1.ている		
		□ 園地の歩道部の舗装の平坦性及び端部			
		□ 支柱の取り付けが堅固である。(国			
		□ 全体的な美観が良い。			
		日 生体的な実観が良い。			
		● 刈川 № 甘 淮			
		●判断基準	1 禁火の項目	数火页 页	1
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下
	細別	「ナナス市のこと 叶滋ナ/ フ市】			
3 出来形及び出来ば		【土木工事のうち防護さく工事】	b		d
る。田木形及び田木は	単	a 優れている	やや優れている	c 他の評価に該当しない	
7.			つつ変れている	他の評価に該当しない	カラ しいる
		●評価対象項目 			
		評価			
		□ 通りが良い。			
		□ 端部処理が良い。			
		□ 部材表面に傷、錆がない。			
		□ 既設構造物等とのすりつけが良い。			
		□ きめ細やかな施工がなされている。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		a 該当5項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下

**=	Am Dil	「! ナーナッン」 (Fith ーナ)			(八五兵)
考査項目	細別	【土木工事のうち標識工事】			
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目	, , , , , , , , ,		22 41 6
		評価			
		□ 設置位置に配慮がある。			
		□ 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。			
		□ 標識板、支柱に変色がない。			
		□ 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されて	いる。		
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
			1 = + 1/4 0 + 5 1	サルの 五口	1
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下
考査項目	細別	【土木工事のうち遮音壁工事】			
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			·
		評価			
		□ 通りが良い。			
		□ 端部処理が良い。			
		□ 部材表面に傷、錆がない。			
		□ 既設構造物等とのすりつけが良い。			
			1 h + + 18 h + 1 1 - 7		
		□ 土工処理及び植栽との取り合い等きめ細や	かな施工かなされている。		
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		a 該当5項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下
		T MA S X A S I L	~ 100		
	細別	「十十二東のシナし、カルウ井工車」			
		【土木工事のうちトンネル内装工事】	T .		
3 出来形及び出来ば	皿 出来はえ	a	b	C	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			
		評価			
		□ 通りが良い。			
		□ 端部処理が良い。			
		□ 部材表面に傷、錆がない。			
		□ きめ細やかな施工がなされている。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		□ 土(PH)/4天戦// ¹ 尺('。			
		• Null Not ++ 24			
		●判断基準	1		
		a 該当4項目以上	b 該当3項目	c 該当2項目	d 該当1項目以下

考査項目	細別	【土木工事のうち道路補修工事(コンクリート構造物工)]					
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目	•	<u>.</u>	•			
		評価						
		□ 小構造物等にも注意が払われている。						
		□ きめ細かな施工がなされている。						
		□ 既設構造物とのすりつけが良い。						
		□ 全体的な美観が良い						
		日 主体的な天観が及び						
		●判断基準						
		a 該当 3 項目以上	b 該当2項目	c 該当1項目	d 該当なし			
			0 032.81		u ixing ix U			
	細別							
3 出来形及び出来ば		【他成工争のプラ版版以開工事】	b	c	d			
る。山木形及の山木は	皿 山木はん		やや優れている		g 劣っている			
λ		●評価対象項目	やや優れている	他の評価に該当しない	みつしいる			
		評価						
		□機器及び配管配線が整然と施工されてい	-					
		□ 機器及び配管配線が確実に取付けられて						
		□ 機器等に制作及び施工上の傷、錆がない。						
		□ 道路の構造物等に配慮した施工がなされている。 -						
		□ 当該設備ならびに対関連設備との機能確	経保がなされている。					
		□ 保守点検に対する配慮が適切である。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下			
考査項目	細別	【施設工事のうち電気工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目		<u>'</u>				
		評価						
		□ 照明灯具及び照明ポール等の据付けに倒	軽がかく通りが良い					
		□ 照明灯具及び照明ポール等が堅牢かつ確						
		□ 配管配線が整然と布設されている。						
		□ 配管配線等が確実に施工されている。						
		□ 部材表面に傷、錆がない。						
		□ 道路の構造物等に配慮した施工がなされ	している。					
		□ 保守点検に対する配慮が適切である。						
		□ 全体的な美観が良い。						
		●判断基準						
		a 該当7項目以上	b 該当5項目	c 該当4項目	d 該当3項目以下			
				•				

考査項目	細別	【施設工事のうち通信工事】							
3 出来形及び出来ば	□ 出来ばえ	а	b	С	d				
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
		●評価対象項目							
		評価							
		□ 配管配線が整然と布設されている。							
		□ 配管配線等が確実に施工されている	5.						
		□ 部材表面に傷、錆がない。							
		□ 道路の構造物等に配慮した施工が	なされている。						
		□ 保守点検に対する配慮が適切である	5.						
		□ 全体的な美観が良い。							
		●判断基準							
		a 該当 5 項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下				
考査項目	細別	【施設工事のうち建築工事】							
3 出来形及び出来ば	□ 出来ばえ	а	b	С	d				
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
		●評価対象項目		<u> </u>					
		評価							
		□ きめ細かな施工がなされ取り合いの	の納まりや端部まで仕上がりが良い						
			調整がなされ、調和が良い仕上がりである。						
		□ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。							
		□ 使い勝手や使用者の女生に対する配慮に優れている。 □ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。							
		□ 色調が均一であり、色むら等が無・							
		□ 材料・製品の割付や通り等が良く、							
		□ 保全に配慮した施工がなされている							
		□ 保守点検に対する配慮が適切である	5.						
		□ 外構を含め全体的な美観が良い。							
		●判断基準							
		a 該当8項目以上	b 該当7項目	c 該当6項目	d 該当5項目以下				
考査項目	細別	【施設工事のうち管工事】							
3 出来形及び出来ば		а	b	С	d				
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
		●評価対象項目			<i>W</i> * * * *				
		評価							
		□ 諸設備等の据付けに傾斜がなく通	りが良い						
		□ 諸設備等が確実に据付けられてい							
		□ 配管配線が整然と布設されている。							
		□ 配管配線等が確実に施工されている	5.						
		□ 部材表面に傷、錆がない。							
		□ 道路の構造物等に配慮した施工が	なされている。						
		□ 保守点検に対する配慮が適切である	5.						
		□ 全体的な美観が良い。							
		●判断基準							
		a 該当7項目以上	b 該当5項目	c 該当4項目	d 該当3項目以下				

考査項目	細別	【施設工事のうちトンネル非常用設備工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目			•			
		評価						
		●判断基準						
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下			
		u Mas XIVE			W NA 2 XHOTT			
	細別	【施設工事のうち受配電設備工事】						
3 出来形及び出来ば		a	b	С	d			
え	並 田木はた	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目	((Q10 C V O		7, 5 C V V			
		□ 機器及び配管配線が確実に取付けられている 機器等に制作及び施工上の傷、錆がない。 □ 営繕施設等に配慮した施工がなされている □ 当該設備ならびに対関連設備との機能確保 □ 保守点検に対する配慮が適切である。 □ 全体的な美観が良い。	, So					
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下			
考査項目	細別	【施設工事のうち遠方監視制御設備工事】						
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d			
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		●評価対象項目						
		評価 □ 機器及び配管配線が整然と施工されている □ 機器及び配管配線が確実に取付けられている □ 機器等に制作及び施工上の傷、錆がない。 □ 営繕施設等に配慮した施工がなされている □ 当該設備ならびに対関連設備との機能確保 □ 保守点検に対する配慮が適切である。 □ 全体的な美観が良い。	v5.					
		●判断基準						
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下			

考査項目	細別	【施設工事のうち交通情報設備工事】			
3 出来形及び出来ば	Ⅲ 出来ばえ	а	b	С	d
え		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目		•	
		評価			
		□機器及び配管配線が整然と施工されている。			
		□ 機器及び配管配線が確実に取付けられている。			
		□ 機器等に制作及び施工上の傷、錆がない。			
		□ 道路の構造物等に配慮した施工がなされている。			
		□ 当該設備ならびに対関連設備との機能確保がなされている。			
		□ 保守点検に対する配慮が適切である。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下
		a Market			
考査項目	細別 【施設工事のうちトンネル換気設備工事】				
3 出来形及び出来ば え	□ 出来ばえ	а	b	С	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
		●評価対象項目			
		評価			
		□ 機器及び配管配線が整然と施工されている。			
		□ 機器及び配管配線が確実に取付けられている。			
		□ 機器等に制作及び施工上の傷、錆がない。			
		□ 道路の構造物等に配慮した施工がなされている。			
		□ 当該設備ならびに対関連設備との機能確保がなされている。			
		□ 保守点検に対する配慮が適切である。			
		□ 全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		a 該当6項目以上	b 該当4項目	c 該当3項目	d 該当2項目以下